

令和2年度
宮崎県立図書館要覧



Live!
Library
Miyazaki Prefectural Library
宮崎県立図書館

<目 次>

..... 【第1部】	
1 運営方針	2
2 令和2年度の主な取組	4
3 組織	7
4 当初予算	8
..... 【第2部】	
1 資料概要	10
(1) 配架別・分類別資料数	10
(2) 資料購入の推移	10
(3) 資料整備状況	11
(4) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況	11
(5) デジタルアーカイブの状況	11
2 事業実績	12
(1) 利用事業（総括）	12
① 年度別貸出利用状況の推移	12
② 貸出利用地区別内訳	13
(2) 館内利用事業	14
① 延入室者数及び貸出冊数の推移	14
② 入館者数、登録者数、貸出冊数	15
③ 分類別図書貸出冊数	15
④ AVコーナー資料の利用状況の推移	15
⑤ 読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）	16
⑥ 調査相談（レファレンス）	16
⑦ YA（ヤングアダルト）サービス	16
⑧ みどりの図書コーナー	16
⑨ 児童サービス	17
⑩ ビジネス支援サービス	17
⑪ 健康情報サービス	18
⑫ パソコン・データベースコーナーの利用状況	18
⑬ 複写サービス利用状況の推移	19
⑭ 各種相談事業	19
⑮ 障がい者等サービス	19
(3) 館外利用事業	20
① やまびこ文庫	20
② セット文庫	21
③ 子育て支援図書セット貸出	22
④ 団体文庫	22
(4) 図書館ネットワーク事業	23
(5) 訪問支援	24
(6) 視聴覚事業	24
① 視聴覚資料等貸出月別利用状況	24

② 視聴覚行事	25
(7) 関係機関と連動した情報発信事業	26
① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）	26
② 県立図書館ロビー展（主催事業）	27
③ 県内公共図書館における巡回展	28
(8) 文化活動事業	29
① 第61回「こどもの読書週間」関連行事	29
② 第73回「秋の読書週間」関連事業	29
③ 特別展等	30
④ 郷土史料等学習活動	31
⑤ 神話の源流みやざき「語り部」養成・活用推進事業	32
⑥ 「本で世代をつなぐ」読書活動推進事業	32
(9) 郷土資料調査研究事業	33
① 『宮崎県史料』	33
② 『宮崎県文化講座研究紀要』	33
③ デジタルアーカイブ事業	33
(10) ホームページ等活用事業	34
(11) 体験学習・施設見学	34
(12) 「かば先生文庫」	35
(13) 講演会等の主催・共催	35
① 「新元号『令和』記念講演会」	35
② 「神話のふるさと県民大学」	35
③ 「わくわく文芸講座」	36
④ 「みやざき自然塾コロキウム」	36
⑤ 「夏休み新聞教室」	36
⑥ 「ラジオ文芸館のつどい in 県立図書館」	37
(14) その他の取組	37
① 大学との連携	37
② 「大人のためのおはなし会」	37
3 各種協議会等	38
(1) 県立図書館協議会	38
(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会	39
(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会	41
(4) 令和2年度宮崎県立図書館資料推薦委員	43

..... 【参考資料】

1 沿革	45
(1) 県立図書館の歩み	45
(2) 歴代館長名	56
2 県立図書館条例・規則	57
3 施設概況	63
4 利用案内	64
5 市町村立図書館一覧	65

【 第 1 部 】



『声に出して言葉を楽しもう』会

県立図書館では、「健康情報コーナー」や「対がん情報コーナー」を設置するなどして、健康づくりに役立つ資料や情報の提供を行う健康情報サービスを実施しています。

※

令和元年度は、「音読教室」の運営方法等の研修のモデルケースとして、県立図書館を会場に「『声に出して言葉を楽しもう』会」を6回実施するとともに、要望のあった県内の図書館で研修を行いました。

※ 音読：詩歌や古文などを声に出して読むこと

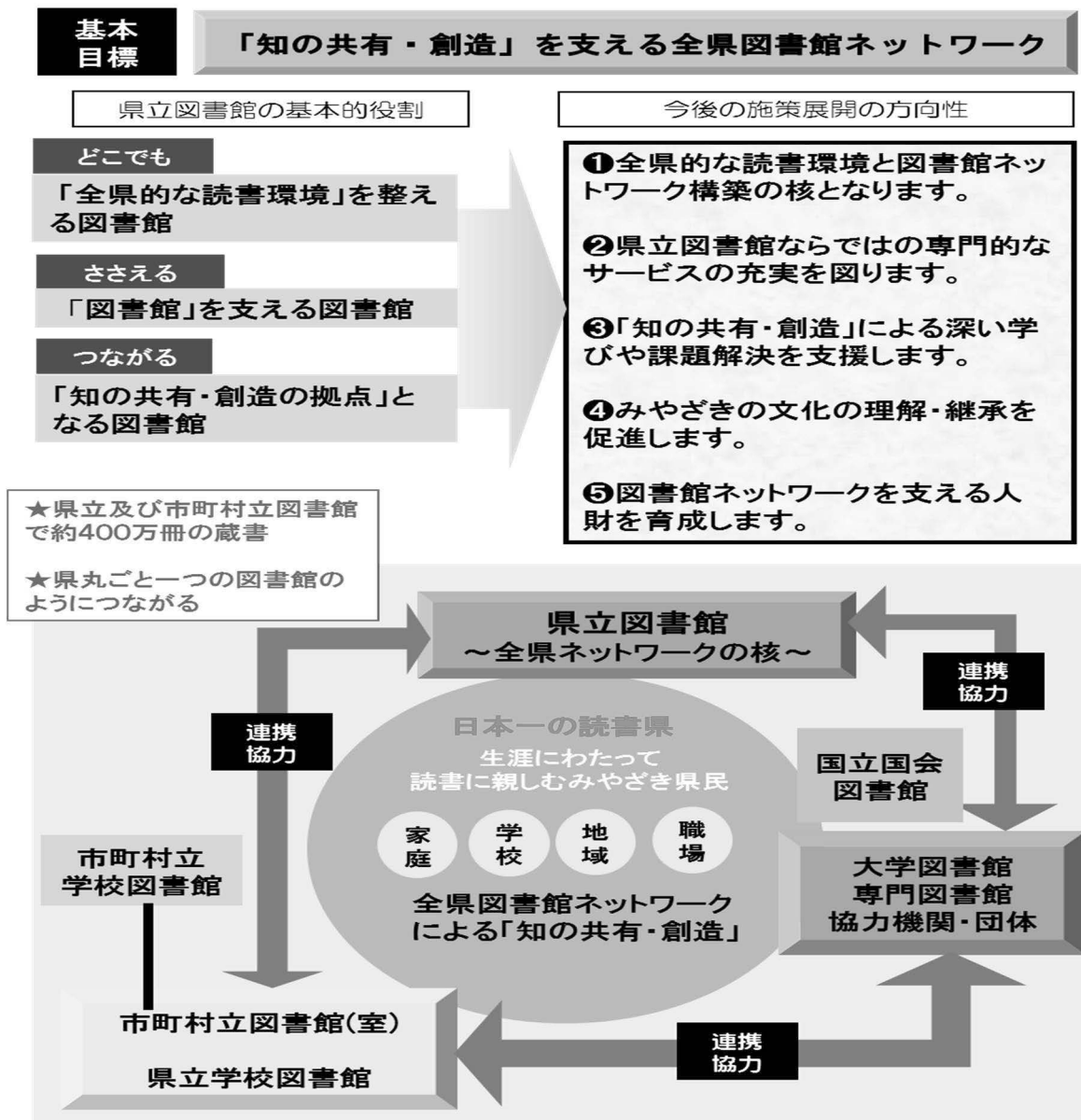
令和2年度宮崎県立図書館運営方針等について

1 運営方針

宮崎県立図書館は、県の中核図書館として、今後目指すべき姿や施策展開の方向性等を明確にした平成30年度から向こう10年間の「県立図書館ビジョン」を、平成29年12月に策定しました。

当該ビジョンにおいては、《「知の共有・創造」を支える全県的な図書館ネットワーク》を基本目標に掲げて、県立図書館を核に、市町村立図書館（室）や学校図書館、大学図書館等との連携・協力により、県内の図書館全体の振興を図ることとしています。

■ 県立図書館ビジョンの全体像



そして、これを具体化し、着実に実行するため、平成30年度から向こう3年間に優先的に取り組む施策や数値目標等を定めた「第1期アクションプラン」を、平成30年3月に策定しました。

令和2年度においては、これらを踏まえ、下記の5つの「今後の施策展開の方向性」に沿った施策を積極的かつ総合的に展開します。その中で、「重点取組事項」として下記の6つを定めます。

県立図書館ビジョン及びアクションプランに定める

施策展開の方向性

- I 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核
- II 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実
- III 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援
- IV みやぎの文化の理解・継承の促進
- V 図書館ネットワークを支える人財の育成

《令和2年度重点取組事項》

- 事項1 資料の充実とレファレンスサービス
- 事項2 国文祭・芸文祭における本県文化の情報発信
- 事項3 市町村図書館（室）に対する支援
- 事項4 学校図書館に対する支援
- 事項5 専門的人財の育成
- 事項6 時代のニーズに対応した次期図書館システムの構築

2 令和2年度の主な取組

(1) 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核

重点
取組

① 市町村立図書館（室）訪問支援

県立図書館内の組織横断的な「市町村支援チーム」によって市町村立図書館（室）等を定期的に訪問し、読書振興、資料収集・保存、施設運営等についての支援を行う。

重点
取組

② 学校等とも連携した学校図書館の活用推進

県立学校・市町村等と連携を図り学校図書館の活用を推進するための支援を行う。また、学校図書館を活用した読書活動や児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の推進について、総合的な支援を行う。

重点
取組

③ 次期図書館情報システムの構築・更新

更新時期を迎えた図書館情報システムについて新システムの構築と移行作業を確実に進行する。

④ 図書配送システムの運用と拡充の検討

図書配送システム「マイラインサービス」や「やまびこ文庫」を運用しその制度周知を積極的に行うとともに、図書配送システムの接続先の拡充について必要な協議・検討を行う。

⑤ 県内公立図書館職員を対象とした専門研修

県内公立図書館職員の資質向上を図るために、公立図書館等の職員を対象とする専門的な研修を行う。

⑥ 図書館ネットワークの充実

市町村立図書館（室）、学校図書館及び大学図書館等の職員との情報共有・意見交換を積極的に行い、「顔の見える関係」づくりをさらに進める。

⑦ 収蔵対策の検討をはじめとする老朽化対策

所蔵資料の収蔵対策や、老朽化対策、危機管理対策について計画的に必要な措置を行う。

(2) 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実

重点
取組

① 専門的資料の収集・整理・保存・提供

市町村立図書館（室）との役割分担を踏まえつつ、専門的な資料・データベース等の計画的な収集・整理・保存・提供に努める。

重点
取組

② レファレンスサービスの提供と充実

県立図書館の有する専門書や地域資料、データベースを活用したレファレンスサービスを適切に提供するとともに、その充実を図るため、専門機関との連携や、担当職員的能力向上に努める。

③ 施策や動向に対応した資料の充実

県の重点施策や学習指導要領に対応した資料の充実を図る。

④ 生涯読書活動の推進に資するサービスの実施

県立図書館ならではの児童サービス、ヤングアダルトサービス、高齢者サービス、障がい者サービスを行う。また、時事に応じたテーマ展示や多世代を対象とした作文募集、モデル的な新しい読書スタイルの提案・実施等を行う。

⑤ 読書活動推進団体への支援

関係機関・団体等と連携しながら読書に係る知識・技術の向上に向けた研修など、読書活動推進団体に対する支援を行う。

⑥ ビジネス支援サービスや医療・健康情報サービスの実施

図書館の持つ資源（司書、資料・データベース、施設）を生かし、関係団体等と連携しながら、ビジネス支援サービスや医療・健康情報支援サービスを提供する。

(3) 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援

① 図書館活動等の情報発信

当館の持つ情報資源や市町村支援等の事業について、県民への周知を図るため、ホームページ、SNS、広報誌等を通じてよりわかりやすく、効果的な情報発信を行う。

② 県民への様々な学習機会の提供

館内外における関係機関と連携した県政の重点施策に関する展示や図書館の自主企画展、各種相談事業、児童・生徒の調べ学習の来館受入れ、学生や社会人等の学び合いの場として活用するためのラーニング・コモンズの検討等、多様な学習機会の提供に努める。

③ 市町村立図書館（室）へのレファレンス等の支援

市町村立図書館（室）が行うレファレンスや市町村職員の資質向上を支援する。

(4) みやぎの文化の理解・継承の促進

① 国文祭・芸文祭における本県文化の情報発信

令和2年度開催する国文祭・芸文祭において本県文化の情報発信のため、これまで

重点
取組

育成した神話・民話の「語り部」の資質向上や成果発表の場を設けるとともに、若山牧水をはじめとする地域文化に関する展示等の情報発信を行う。

② 地域資料の収集・整理・保存・活用

市町村立図書館（室）との情報共有を図り県と市町村の役割分担を検討・整理しつつ、地域資料の収集計画を策定し、効率的・効果的な収集・整理・保存・活用に努める。

③ 地域資料を活用した情報の発信

特別展や企画展を通じて、地域資料を活用し、歴史・文化はもとより、自然や産業など幅広い地域情報の発信を行う。

(5) 図書館ネットワークを支える人財の育成

重点
取組

① 幅広い知識等を備えた人財の育成・確保

幅広い知識や技能、実務能力及びネットワーク力を有する人財の育成・確保に計画的に取り組む。

重点
取組

② 図書館の動向に関する情報収集と職員の資質向上

図書館の運営やサービスの動向等に関する情報収集とともに専門的な実務能力の向上を図るための研修や、利用者サービスの向上に資する研修等を行い、職員の全体的な資質向上に努める。

③ 社会の動向等を踏まえた図書館の運営等の改善

利用者ニーズや社会の動向等を踏まえて、県立図書館協議会やアンケート等を通して図書館の運営について意見を聞き、運営等の改善に取り組む。

3 組織

(1) 職員の現員調

単位 (人)

区分	館長	副館長	専門主幹	課長	主幹	副主幹	主査	専門主事	主任主事	主事	社会教育主事
現員26	1	1	0	2	2	4	7	1	6	0	2

(2) 組織及び分掌事務 (令和2年5月1日現在)

<p>名誉館長 伊藤 一彦</p>	<p>総務・企画課 山田 真也</p>	<p>総務担当 原田 佳奈子 滝口 みき 宮之原 あい 資料受入業務等事務員1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成・執行・決算、物品調達・検査、歳入 ・庁舎管理(施設・設備管理、環境整備、施設利用等)、防火・防災、公用車管理、備品管理、書庫増設計画 ・給与及び旅費、報酬、報償、会計年度任用職員の任用・勤務・休暇整理 ・文書管理 ・連絡調整(館内、環境情報センター、全国公共図書館協議会、日本図書館協会、九州図書館長会等) ・館内行事予定(週間行事、日々行事等) 	
		<p>企画担当 清家 智子 田村 桃子 米倉 晴香</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策・事業の総合的調整、図書館評価、図書館協議会 ・図書館広報、県政の重点施策情報発信事業(ギャラリー展及び関連イベント) ・図書館情報システム、ホームページ及びフェイスブック、情報セキュリティ等の運営管理 ・「知の共有・創造」の場づくりの企画・運営 ・モデル的な読書スタイルの企画・提案 ・職員研修、図書館実習・職場体験学習等 ・各種相談事業等の共催、調査統計 	
		<p>資料管理担当 安藤 道子 富士本 伸二 池田 真智子 奉仕相談員2名 資料受入業務等事務員1名 資料管理業務専門員1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の総合管理(収集・保存・活用・除籍・製本) ・資料の収集方針、管理計画 ・購入資料・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入 ・資料費・装備用消耗品の管理 ・資料推薦委員、特別整理期間 ・資料費の予算執行 	
<p>館長 中原 光晴</p>	<p>副館長 甲斐 久志</p>	<p>情報提供課 堀永 昌平</p>	<p>普及支援担当 吉永 登志孝 坂尾 知宏 有田 雅代 木村 和哉 奉仕相談員2名 資料受入業務等事務員1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援 ・県公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計 ・やまびこ文庫、BM書庫管理・活用 ・マイライン運営普及 ・視聴覚事業、AVコーナーの保守管理 ・読書団体振興、施設利用(読書振興室)
			<p>郷土情報担当 中竹 俊博 西國原 正昭 郷土資料研究員1名 郷土資料調査員1名 奉仕相談員1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料の収集・保存・整理・活用 ・貴重資料の収集・保存・整理・活用、デジタルアーカイブ ・県地方史講座(文化講座・古文書講座) ・展示会(特別展・企画展・巡回展) ・地域情報の調査相談、「宮崎の文学散歩」刊行 ・宮崎県地方史研究連絡協議会事務局 ・神話の源流みやざき「語り部」養成活用推進事業
			<p>情報提供担当 川野 香 井手上 和代 才名園 栄津子 上米良 綾子 福岡 茂樹 若松 里奈 渡野 唯 奉仕相談員12名、情報提供業務専門員1名、<small>加々</small>事務員8名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童図書室・閲覧室・書庫の運営管理 ・レファレンスサービス、相互貸借 ・健康情報、学校支援、子育て支援、子どもの読書推進 ・ビジネス支援、市町村・庁内レファレンス ・ヤングアダルトサービス ・複写サービス、情報活用講座、見学等利用者支援 ・資料の返却督促、弁償、リクエスト、予約 ・利用データの統計・管理 ・高齢者・障がい者サービス

4 当初予算

(歳入)

科 目		説 明
財産収入	1,865 千円	
財産運用収入	1,865	
財産貸付収入	1,865	
公募型財産貸付料	1,865	県立図書館自動販売機設置貸付料
繰入金	3,068 千円	
基金繰入金	3,068	
産業廃棄物税基金繰入金	633	
産業廃棄物税基金	633	リサイクル活動資料整備
観光みやざき未来創造基金繰入金	2,435	
観光みやざき未来創造基金	2,435	神話の源流みやざき「語り部」養成・活用推進事業
諸収入	829 千円	
雑収入	829	
雑収入	829	
雑収入	829	電子複写 555,000 円 電気・水道使用料 274,000 円
県債	15,000 千円	
県債	15,000	
教育費	15,000	
県立図書館施設整備事業費	15,000	県立図書館老朽化対策事業

(歳出)

事業名	予算額	事項名	説明
図書館費	93,157 千円	1 管理運営費 72,829 千円	庁舎の維持管理に要する経費
		2 図書館協議会 228	図書館協議会の運営に要する経費 (委員9人・年2回)
		3 県立図書館老朽化対策事業 20,100	屋上防水改修工事(工区3)に要する経費
図書館サービス推進費	135,850	1 館内奉仕・巡回文庫用資料整備 40,464	図書、新聞、雑誌、視聴覚資料等の購入に要する経費
		2 郷土新聞保存整備事業 1,010	郷土新聞の保存に要する経費
		3 館内奉仕活動費 87,259	資料の提供、会計年度任用職員人件費等、調査相談業務及びコンピュータ運用に要する経費
		4 文化活動推進費 379	文化講座(年3回)、古文書講座(年6回)開催に要する経費
		5 読書普及推進費 505	団体文庫の育成、公用車の維持管理、読書普及活動の推進に要する経費
		6 AV活動推進費 55	AV機器の管理、緑陰コンサート等に要する経費
		7 図書館ネットワーク推進事業 949	図書配送費、市町村図書館支援のための派遣旅費、レファレンス研修に要する経費
		8 インターネット通信事業 256	インターネット通信に要する経費
		9 みどりの図書館づくり推進事業 1,248	自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要する経費(オンラインデータベース等)
		10 図書館情報システムセキュリティ強化対策事業 778	外部からの不正侵入等に対する情報セキュリティ対策及び館内の危機管理対策に要する経費
		11 「本で世代をつなぐ」読書活動推進事業 512	「伝えたい! 教えたい! 私の一番好きな本」作品募集・表彰、ブックリスト作成に要する経費
		12 神話の源流みやざき「語り部」養成・活用推進事業 2,435	語り部スキルアップ講座Ⅱ、「神話の源流を語る会」の実施、「光と神話の世界」での公演に要する経費
郷土資料調査研究事業推進費	8,121	1 史料刊行費 4,007	史料・研究紀要の刊行に要する経費
		2 郷土資料調査・研究員報酬等 4,114	郷土資料の調査・研究に係る会計年度任用職員人件費等
合計	237,128		

【 第 2 部 】



「ウィキペディアタウン in 宮崎」

県立図書館では、読書を通じた「知の共有・創造」の場づくりを促進しています。

令和元年度はそのモデルとして、地域を巡り、文化財等の情報について文献を調べ、インターネット上の百科事典「ウィキペディア」の記事を作成、編集する「ウィキペディアタウン」を実施しました。

当日は高校生から郷土史研究家、県内図書館職員など 21 名の方が参加し、神宮周辺を歩いた後、グループに分かれ、図書館の複数の地域資料を比べ読み、信頼性を精査、理解した上で自分達の言葉で、記事を作成しました。

1 資料概要

図書館資料の整備に当たっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

そのような中で、これらの蔵書の中には置県100年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書の古刊本や江戸後期の城ヶ崎俳壇の俳諧資料など約12,000点も含まれており、また貴重書庫には「佐土原藩嶋津家日記」や「嶠南文庫」などの古文書約2,000点も保存している。

(1) 配架別・分類別資料数（令和2年3月31日現在）

単位（冊・点）

区分	閲覧室	児童図書室	書庫	BM書庫	視聴覚資料	その他	合計	割合(%)
0 総記	8,230	944	40,428	1,033	381	464	51,480	6.4
1 哲学	4,869	273	19,183	1,029	112	6	25,472	3.2
2 歴史	13,546	1,584	54,217	3,034	924	310	73,615	9.2
3 社会科学	24,264	2,548	142,688	5,741	2,328	450	178,019	22.1
4 自然科学	13,575	3,931	41,245	5,901	1,116	22	65,790	8.2
5 技術	12,515	1,606	38,966	5,569	750	23	59,429	7.4
6 産業	11,535	870	36,012	2,131	509	10	51,067	6.3
7 芸術	10,459	2,867	41,822	5,349	7,613	74	68,184	8.5
8 言語	3,120	578	9,571	1,141	146	44	14,600	1.8
9 文学	26,784	18,359	132,683	38,168	355	230	216,579	26.9
計	128,897	33,560	556,815	69,096	14,234	1,633	804,235	100

(2) 資料購入の推移

単位（購入数：冊、金額：千円）

区分	H27		H28		H29		H30		R1	
	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額
図書	11,732	35,361	14,038	43,147	11,363	33,454	11,144	35,860	10,727	36,976
逐次刊行物	3,303	4,954	3,351	5,225	3,449	5,543	3,487	5,422	3,476	5,544
A V 資料	74	1,194	90	1,004	70	1,323	37	770	44	735
計	15,109	41,509	17,479	49,376	14,882	40,320	14,668	42,052	14,247	43,255

※27年度は子ども読書活動推進事業を含む。

※28年度は日本一の読書県を目指した総合推進事業を含む。

(3) 資料整備状況

① 資料受入（令和2年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	令和元年度受入資料数		総資料数
図 書（A）	14,660		732,087
逐次刊行物（B）	5,447	新聞 51種	54,268
		雑誌 416種	
A V 資料（C）	191		17,880
合 計（A+B+C）	20,298		804,235

② 資料受入区分別・分類別資料数（令和2年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	購 入	寄 贈	編 入	所管換	数量更正	生 産	弁 償	寄 託	その他	合 計
0 総 記	1,012	303	11		6	67	1			1,400
1 哲 学	368	57					5			430
2 歴 史	885	534	5			13	4			1,441
3 社会科学	2,914	1,810			5	112	8		6	4,855
4 自然科学	1,364	310			1		11			1,686
5 技 術	1,430	846	11			3	22			2,312
6 産 業	854	610			9		4			1,477
7 芸 術	1,640	398			1		18		4	2,061
8 言 語	290	27			1					318
9 文 学	3,490	764					64			4,318
計	14,247	5,659	27		23	195	137		10	20,298

(4) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況（令和2年3月31日現在）

単位（点）

種 別	巻 数	種 別	巻 数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	601
佐土原藩嶋津家日記	69	宮崎日日新聞	1,029
佐土原藩嶋津家江戸日記	143	宮崎新報 他	307
島津文書	50		
出北村文書	120		
矢津田家文書	74	合 計	4,073

(5) デジタルアーカイブの状況（令和2年3月31日現在）

- ・1,034点 約5万コマをホームページ上のデジタルアーカイブで公開。
- ・電子化が終了した史料は4,373点、閲覧用デジタルデータで約20万コマ。
- ・電子化が終了したおもな史料は、佐土原藩嶋津家文書、嶺南文庫など。
- ・現在、佐土原藩嶋津家江戸日記と佐土原藩嶋津文庫の電子化を進めている。

2 事業実績

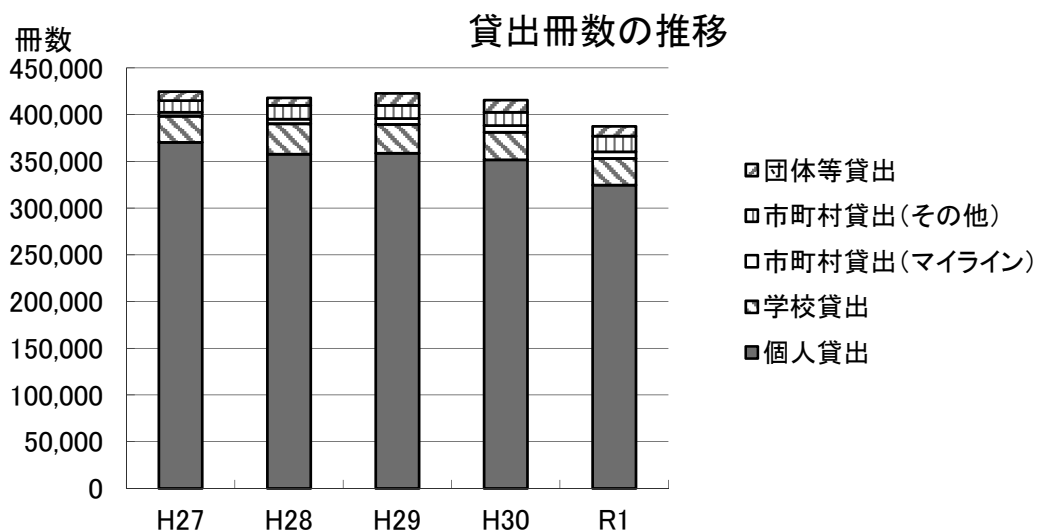
令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3/5～3/26 の 19 日間（月曜休館除く）が臨時休館となった。

(1) 利用事業（総括）

① 年度別貸出利用状況の推移

区 分		年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	
開 館 日 数 (日)			302	300	299	300	278	
入 館 者 数 (人)			502,564	468,732	476,569	475,346	427,575	
(1 開 館 日 当 たり)			1,664	1,562	1,594	1,584	1,538	
登 録 者 数 (人)			8,447	8,005	7,052	7,700	7,096	
累 計 登 録 者 数 (人)			256,319	264,324	271,376	279,076	286,172	
(1 開 館 日 当 たり)			28	27	24	26	26	
貸 出 冊 数 (冊)	個 人 貸 出 (1 開 館 日 当 たり)		370,359	357,653	358,695	351,695	324,730	
			1,226	1,192	1,200	1,172	1,168	
	マ イ ラ イ ン		4,294	4,900	6,351	7,143	7,155	
	巡 回 文 庫		11,800	—	—	—	—	
	子 育 て 支 援 図 書 セ ッ ト		810	891	891	1,020	1,140	
	やまびこ 文庫	町 村 支 援 事 業		—	12,300	11,800	11,550	11,400
		学 校 支 援 事 業		—	32,680	30,910	29,550	28,450
		大 量 貸 出 支 援 事 業		—	1,495	1,413	1,604	4,157
		児 童 教 育 施 設 等 支 援 事 業		4,539	3,714	5,334	5,037	3,790
	学 校 貸 出		27,910	—	—	—	—	
	セ ッ ト 文 庫		—	893	4,363	4,850	3,975	
	団 体 貸 出		4,856	3,533	3,129	3,140	2,758	
	視 聴 覚 資 料 団 体 貸 出		74	43	41	17	40	
合 計		424,642	418,102	422,927	415,606	387,595		

※やまびこ文庫は、平成 28 年度より事業開始。セット文庫は、平成 28 年度より事業改定。



② 貸出利用地区別内訳（令和元年度）

単位（冊）

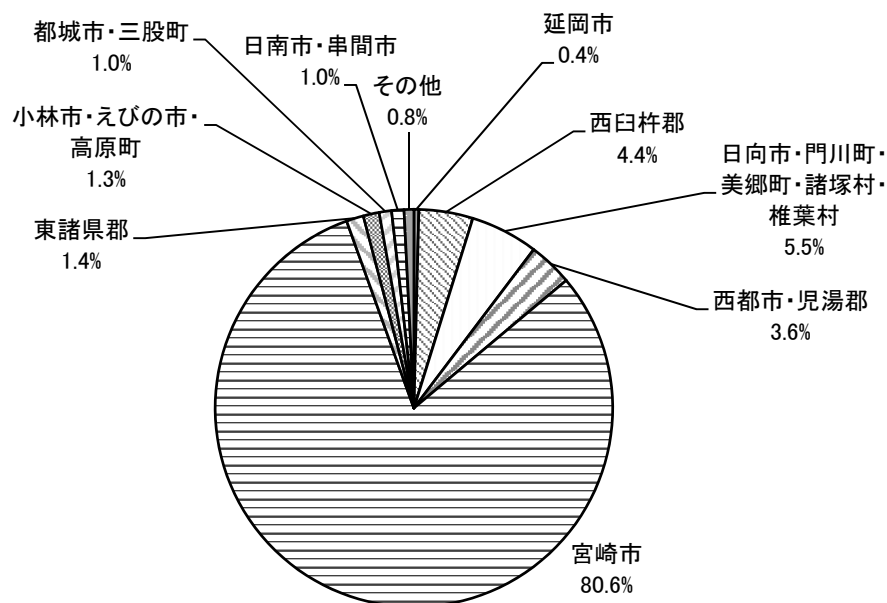
区 分	本館資料	マイライン	やまびこ文庫	セット文庫	団体等貸出	貸出合計
延 岡 市	830	356	172	-	-	1,358
	0.2%	5.0%	0.4%	-	-	0.4%
西 臼 杵 郡	184	348	15,300	1,034	270	17,136
	0.1%	4.9%	32.0%	26.0%	6.9%	4.4%
日向市・門川町 ・美郷町・諸塚村 ・椎葉村	701	2,096	16,308	1,718	420	21,243
	0.2%	29.3%	34.1%	43.2%	10.8%	5.5%
西都市・児湯郡	7,889	1,512	3,843	440	441	14,125
	2.4%	21.1%	8.1%	11.1%	11.3%	3.6%
宮 崎 市	301,659	862	7,281	-	2,677	312,479
	92.9%	12.0%	15.2%	-	68.7%	80.6%
東 諸 県 郡	5,094	100	111	-	-	5,305
	1.6%	1.4%	0.2%	-	-	1.4%
小林市・えびの市 ・高原町	1,633	340	2,135	783	90	4,981
	0.5%	4.8%	4.5%	19.7%	2.3%	1.3%
都 城 市 ・ 三 股 町	2,249	652	1,057	-	-	3,958
	0.7%	9.1%	2.2%	-	-	1.0%
日南市・串間市	1,539	889	1,590	-	-	4,018
	0.5%	12.4%	3.3%	-	-	1.0%
そ の 他	2,952	-	-	-	-	2,952
	0.9%	-	-	-	-	0.8%
合 計	324,730	7,155	47,797	3,975	3,898	387,555

※やまびこ文庫は、平成28年度より開始した事業である。

※団体等貸出には、子育て支援図書セット貸出を含む。

※視聴覚資料団体貸出は含まない。

貸出合計にみる地区別の比率（令和元年度）



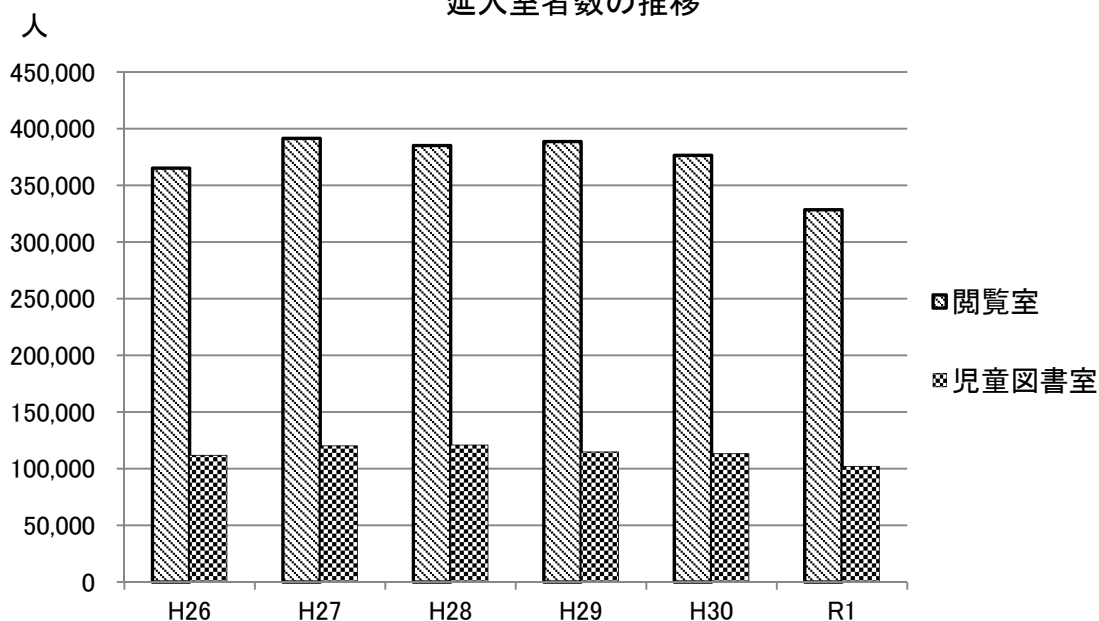
(2) 館内利用事業

① 延入室者数及び貸出冊数の推移

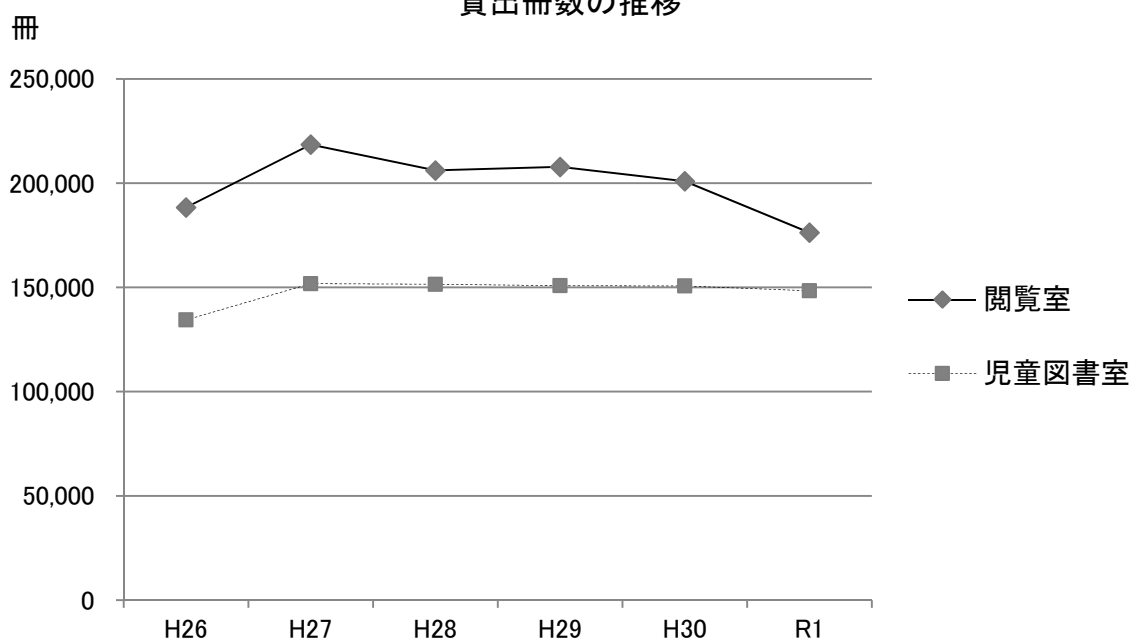
単位 (人・冊)

年度 区分	H26		H27		H28		H29		H30		R1	
	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数
閲覧室	365,248	188,366	391,591	218,524	385,152	206,135	388,707	207,815	376,527	200,953	328,555	176,305
児童図書室	111,842	134,437	120,206	151,835	120,995	151,518	114,832	150,880	113,307	150,742	102,180	148,425
計	477,090	322,803	511,797	370,359	506,147	357,653	503,539	358,695	489,834	351,695	430,735	324,730
1日平均	1,601	1,083	1,695	1,226	1,687	1,192	1,684	1,200	1,633	1,172	1,549	1,168

延入室者数の推移



貸出冊数の推移



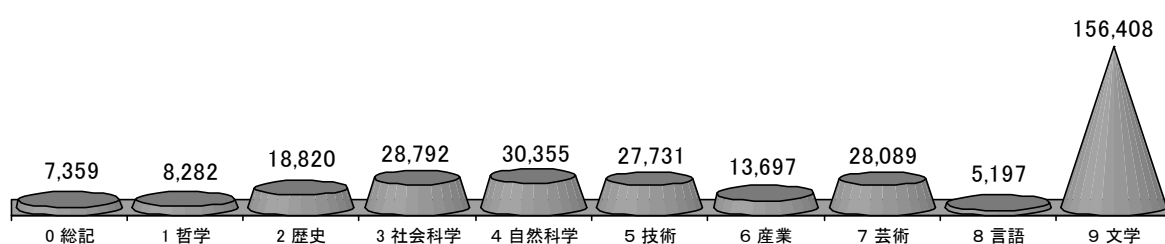
② 入館者数、登録者数、貸出冊数(平成 31. 4. 1～令和 2. 3. 31 開館日数 278 日) 単位(人・冊)

区分	入館者	登録者	貸出冊数	平均入館者	平均登録者	平均貸出冊数
利用者	0 歳～ 6 歳	670	37, 273		2. 4	134
	7 歳～12 歳	746	40, 776		2. 7	147
	13 歳～15 歳	171	3, 542		0. 6	13
	16 歳～18 歳	223	3, 003		0. 8	11
	19 歳～22 歳	415	5, 749		1. 5	21
	23 歳～	4, 871	234, 387		17. 5	843
計	427, 575	7, 096	324, 730	1, 538	25. 5	1, 168
累計 (昭和 63 年度以降)	17, 661, 348	286, 172	12, 424, 025			

③ 分類別図書貸出冊数(平成 31. 4. 1～令和 2. 3. 31 開館日数 278 日) 単位(冊)

分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均
0 総記	5, 774	1, 585	7, 359	26	6 産業	10, 967	2, 730	13, 697	49
1 哲学	7, 351	931	8, 282	30	7 芸術	17, 270	10, 819	28, 089	101
2 歴史	15, 275	3, 545	18, 820	68	8 言語	3, 871	1, 326	5, 197	19
3 社会科学	23, 693	5, 099	28, 792	103	9 文学	52, 101	104, 307	156, 408	563
4 自然科学	18, 636	11, 719	30, 355	109					
5 技術	21, 367	6, 364	27, 731	100	合計	176, 305	148, 425	324, 730	1, 168

分類別図書貸出冊数の内訳(総数 324, 730 冊)



④ AVコーナー資料の利用状況の推移
(ビデオソフト)

単位(本)

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R 1
利用本数		5, 186	4, 586	4, 237	4, 974	4, 809	3, 311
1日平均		17	15	14	17	16	12

※令和元年度 11 月より、機器の故障により AV コーナーを 6 ブースから 5 ブースに削減。

⑤ 読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）（令和元年度） 単位（件・人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	5	4	5	4	4	5	6	4	1	1	1	0	40
人数	30	19	33	25	22	51	59	20	6	6	3	0	274

⑥ 調査相談（レファレンス）

利用者からの相談を受け、蔵書資料の紹介や情報の提供により調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

〈レファレンス件数〉（令和元年度） 単位（件）

区分	対面	電話	FAX	Eメール	文書等	計
件数	4,968	1,797	320	251	246	7,582

〈相互貸借件数〉 単位（冊）

区分 年度	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
R1	6	703	169	878
H30	12	653	262	927
H29	7	669	215	891

⑦ YA（ヤングアダルト）サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成17年度から青少年コーナーを設置している。平成20年度には書架を増設し、毎年資料の充実を図っている。（図書約5,500冊）

⑧ みどりの図書コーナー

21世紀に宮崎県のめざす「人と自然の共生する地域環境づくり」を支援するとともに、宮崎県立図書館にふさわしい特色ある蔵書構成の向上を図るため、太陽と緑の国みやぎのイメージに合った「みどりに関する資料」を収集している。（展示冊数100冊程度）

⑨ 児童サービス

ア 読み聞かせ

児童図書室では、こどもと本をつなぐため、絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

- ・図書館職員による読み聞かせ
毎週火曜日：午後2時～午後2時30分
- ・ボランティア団体による読み聞かせ
毎週水曜日：午後3時～午後3時30分
毎週土曜日：午後3時～午後4時

〈読み聞かせ利用者数〉（令和元年度） 単位（人）

曜日	内 訳		計	1回当たり
火曜日 (36回実施)	こども	262	503	13.9
	大人	241		
水曜日 (41回実施)	こども	241	442	10.7
	大人	201		
土曜日 (88回実施)	こども	720	1,289	14.6
	大人	569		
計 (165回実施)	こども	1,223	2,234	13.5
	大人	1,011		

※土曜日は1日に2回実施する。

イ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約380冊）

また、毎月第4火曜日に読み聞かせに参加する保護者を対象とした、子育てに関する悩みの共有、課題の解決、孤立化の防止のための、保護者同士のグループ相談や助産師による個別相談会（子育て相談おはなし会）を行っている。

- ・子育て相談おはなし会相談件数（令和元年度） 延べ 55件

⑩ ビジネス支援サービス

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナー（図書約800冊）を設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌等を展示している。その他、宮崎県立図書館を会場として、宮崎県産業振興機構派遣のコーディネーターによるビジネス相談会を実施している。（毎月第1を除く木曜日と第3日曜日）

また、経営支援、創業支援等の分野に係る連携の円滑化、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的として宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で覚書を締結している。（平成22年4月1日）

また、宮崎県立図書館を会場として四者によるセミナー、経営・金融相談会等を実施している。

〈ビジネス相談会の実績〉

- ・相談受付件数（令和元年度） 延べ 73件

〈四者連携によるセミナー等の実績〉

回	期 日	セミナー等の名称	参加者数 (人)
1	9月4日 (水)	中小企業経営セミナー	21
2	11月12日 (火)	生産管理の基礎 (宮崎教室)	18
3	11月13日 (水)	生産管理の基礎 (宮崎教室)	18
4	12月12日 (木)	生産管理の基礎 (宮崎教室)	16
合 計			73

⑪ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ資料や情報の提供を行うため、健康情報コーナー (図書約 800 冊) を設置して、闘病記を中心とする図書等の展示、健康情報リンク集専用のパソコンの設置を行っているほか、第 5 週を除く毎週土曜日に宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちの保健室」を実施している。

更に、宮崎大学医学部がん相談支援センターと連携し、平成 29 年 10 月から 2 階ロビーに対がん情報コーナーを設置してがん対策に関するパネルの展示や関連パンフレット・チラシの配架を行っている。

また、今年度は、音読教室の運営方法等の研修のモデルケースとして「『声に出して言葉を楽しもう』会」を実施した。

〈「まちの保健室」の実績〉

・相談者数 (令和元年度) 延べ 618 人

〈「がん相談支援に関する相談会」の実績〉

令和元年 11 月 2 日 (土) 参加者 3 人
 令和元年 11 月 9 日 (土) 参加者 1 人
 令和元年 11 月 16 日 (土) 参加者 2 人

〈「『声に出して言葉を楽しもう』会」の実績〉

令和元年 7 月 14 日 (日)、8 月 24 日 (土)、11 月 17 日 (日)、12 月 22 日 (日)、
 令和 2 年 1 月 5 日 (日)、2 月 11 日 (火) 開催 延べ 128 人

⑫ パソコン・データベースコーナーの利用状況

調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを閲覧室内に設け、インターネット専用パソコン 4 台、データベース専用パソコン 4 台、無線 LAN と有線 LAN 共用の持込用パソコン席 20 席の計 28 席を用意して、利用者に供している。

〈利用者数〉 (令和元年度)

・インターネット専用パソコン 延べ 3,475 人
 ・持込用パソコン席 延べ 5,059 人
 ・データベース席 延べ 472 人

※平成 26 年 4 月から国立国会図書館デジタルデータベース化資料送信サービスを開始。

※令和元年 7 月から国立国会図書館歴史的音源サービスを開始。

⑬ 複写サービス利用状況の推移

単位（件・枚）

年 度	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1
件 数	6,167	6,310	5,505	5,658	4,802	4,267
枚 数	51,379	47,907	42,846	39,342	32,597	33,898

⑭ 各種相談事業

地域や住民の課題やニーズが多様化し、その解決に当たっては情報提供だけでなく、「人」と「組織」を結びつける積極的な※レフェラルサービスも必要である。その一つとして、各種機関と連携した相談会を実施している。

※レフェラルサービスとは、他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービスのことである。

ア 法律相談

- 法律相談会（8月を除く毎月第2金曜日）

<月別相談件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	1	4	4	2	—	4	2	3	3	2	0	—	25

※3月は臨時休館のため中止。

- 県下一斉司法書士無料法律相談会

令和2年2月2日(日)

相談者数 176名

イ 不動産相談

- 不動産無料相談会

平成31年4月13日(土)

相談者数 29名

相談件数 39件

令和元年10月5日(土)

相談者数 20名

相談件数 23件

ウ ランタンのつどい

- 自死遺族の思いの分かち合いの会（毎月第2土曜日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者数	2	2	6	3	2	2	3	3	4	2	2	—	31

※3月は臨時休館のため中止。

⑮ 障がい者等サービス

来館が困難な程度の障がいを有する方々等への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸出を平成27年3月から実施している。

- 利用登録者

令和元年度（新規） 18名

令和元年度末計 70名

- 延べ利用数

令和元年度 935点

(3) 館外利用事業

① やまびこ文庫

平成 28 年度から、移動図書館車「やまびこ」（平成 27 年度廃止）に代わる事業として、やまびこ文庫事業を開始した。やまびこ文庫は、BM 書庫（市町村配送専用書庫）の資料等を活用することにより、市町村や学校等における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的としている。この事業では、県立図書館から貸出図書を定期配送する支援、BM 書庫で貸出を行う支援を実施している。

ア 定期配送による支援

〈町村支援事業〉

令和元年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
高千穂町	高千穂町立図書館	1,500	美 郷 町	美郷町立西郷図書館	1,500
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,500		美郷町立北郷図書館	1,500
諸 塚 村	諸塚村中央公民館図書室	900		美郷町立南郷図書館	1,200
椎 葉 村	椎葉村民図書室	1,500	高 原 町	高原町中央公民館図書室	1,500
西米良村	西米良村立図書室	300	合 計		11,400

〈学校支援事業〉

令和元年度 配本冊数

単位（冊）

市町村名	学 校 名	配本冊数	市町村名	学 校 名	配本冊数
五ヶ瀬町	鞍岡小学校	1,500	椎 葉 村	大河内小学校	750
	三ヶ所小学校	1,500		松尾小学校	900
	坂本小学校	1,200		椎葉中学校	630
	上組小学校	1,200	諸 塚 村	諸塚小学校	750
	五ヶ瀬中等教育学校	1,200		荒谷小学校	240
高千穂町	押方小学校	300		七ッ山小学校	750
	田原小学校	750	西 米 良 村	西米良中学校	360
	岩戸小学校	1,500		宮 崎 市	明星視覚支援学校
	上野小中学校	900	赤江まつばら支援学校		450
	田原中学校	900	みなみのかぜ支援学校		690
	延岡しろやま支援学校高千穂校	450	清武せいりゅう支援学校		1,200
日之影町	日之影中学校	900		宮崎海洋高等学校	400
美 郷 町	美郷北学園	900	都 城 市	都城さくら聴覚支援学校	900
	美郷南学園	300	日 南 市	日南くろしお支援学校	1,500
椎 葉 村	椎葉小学校	630	日 向 市	日向ひまわり支援学校	900
	尾向小学校	900	新 富 町	児湯るびなす支援学校	900
	不土野小学校	600	小 林 市	都城きりしま支援学校小林校	600
	小崎小学校	600	合 計		28,450

イ BM書庫での貸出による支援

BM書庫資料の大量貸出により、市町村立図書館・図書室、児童教育施設等を支援した。

〈大量貸出支援事業〉

令和元年度 貸出冊数

単位 (冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
延岡市	延岡市立図書館北川分館	172	宮崎市	田野公民館図書室	339
日向市	日向市立図書館	548	宮崎市	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	402
美郷町	美郷町立西郷図書館	310	宮崎市	佐土原図書館	10
都農町	都農町民図書館	1,609	三股町	三股町立図書館	157
高鍋町	町立高鍋図書館	374	日南市	日南市立図書館	90
綾町	綾てるは図書館	111	えびの市	えびの市民図書館	35
				合 計	4,157

〈児童教育施設等支援事業〉

令和2年度 児童教育施設等一覧 (令和2年4月1日現在)

No.	市町村名	団 体 名	登録種別	登録年月	No.	市町村名	団 体 名	登録種別	登録年月
1	宮崎市	社 会 福 祉 法 人 園 南 方 保 育	教育施設	平12. 4	11	宮崎市	東 大 宮 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平12. 10
2	宮崎市	宮 崎 県 中 央 福 祉 こ ど も セ ン タ ー	教育施設	平21. 6	12	宮崎市	池 内 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29. 5
3	宮崎市	宮 崎 大 学 教 育 学 部 附 属 幼 稚 園	教育施設	平25. 10	13	宮崎市	倉 岡 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29. 6
4	宮崎市	櫛 北 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平24. 4	14	宮崎市	住 吉 第 二 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29. 6
5	宮崎市	瓜 生 野 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平20. 7	15	宮崎市	生 目 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29. 12
6	宮崎市	大 宮 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平22. 9	16	宮崎市	西 池 南 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平30. 6
7	宮崎市	小 松 台 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平24. 10	17	西都市	都 於 郡 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平30. 9
8	宮崎市	住 吉 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平25. 7	18	宮崎市	東 大 宮 夢 は う す 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平31. 4
9	宮崎市	宮 崎 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平26. 3	19	宮崎市	住 吉 第 三 児 童 ク ラ ブ	教育施設	令1. 7
10	宮崎市	西 池 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平12. 6	20	宮崎市	宮 崎 東 児 童 ク ラ ブ	教育施設	令1. 8

② セット文庫

平成28年度より、セット文庫事業を改定し、やまびこ文庫登録図書館・室、やまびこ文庫登録学校、町村立学校への貸出を開始した。

学 校 名	貸出冊数	学 校 名	貸出冊数
高千穂町立田原小学校	25	高原町立広原小学校	40
都農町立都農小学校	310	高鍋町立高鍋東中学校	5
都農町立都農南小学校	110	都農町立都農中学校	15
日之影町立日之影小学校	90	高原町立高原中学校	96
日之影町立高巣野小学校	185	県立富島高等学校	60
高原町立狭野小学校	191	合 計	1,127

※このほかに、やまびこ文庫登録図書館・室へもセット文庫の貸出を行っており、その貸出数は2,848冊であった。

③ 子育て支援図書セット貸出

専門家による評価や利用者の声などを参考に選書した育児書や幼児用絵本などの子育て支援セットを町村の図書館（室）へ貸し出し、子育て支援センターの読み聞かせ活動などに活用してもらうなど、町村立図書館における子育て支援のための取組を支援するとともに、子育て世代による県立図書館資料の利用を推進した。

〈令和元年度貸出状況〉

町 村 名	図書館・図書室名	回 数	セット数（貸出冊数）
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	3	3 (90)
高千穂町	高千穂町立図書館	3	3 (90)
高 原 町	高原町中央公民館図書室	3	3 (90)
川 南 町	川南町立図書館	3	3 (90)
高 鍋 町	町立高鍋図書館	3	3 (90)
都 農 町	都農町民図書館	3	3 (90)
美 郷 町	美郷町立西郷図書館	3	3 (90)
	美郷町立北郷図書館	3	3 (90)
	美郷町立南郷図書館	3	3 (90)
木 城 町	木城町総合交流センターリバリス図書室	3	3 (90)
諸 塚 村	諸塚村中央公民館図書室	3	3 (90)
門 川 町	門川町立図書館	2	2 (60)
日之影町	まちなか図書館「中央保育園」	3	3 (90)
	合 計	38回	38セット (1,140冊)

④ 団体文庫

令和2年度 団体文庫登録団体一覧（令和2年4月1日現在）

No.	市町村	団 体 名	登録種別	登録年月	No.	市町村	団 体 名	登録種別	登録年月
1	宮崎市	いずみ一座	読み聞かせボランティア	平25. 8	13	宮崎市	宮崎レコード音楽愛好会	研究団体【レコード】	平29. 6
2	宮崎市	大宮小読み聞かせサークルひまわり	読み聞かせボランティア	平23. 4	14	宮崎市	みつばちキッズ柳丸	障害児通所施設	平29. 7
3	高鍋町	おはなしころりん	読み聞かせボランティア	平15. 7	15	宮崎市	あおぞら幼稚園読み聞かせサークルぶんぶん	読み聞かせボランティア	平29.10
4	宮崎市	おはなし つたや	読み聞かせボランティア	平26. 4	16	宮崎市	こどもプラス宮崎教室	障害児通所施設	平30. 4
5	宮崎市	くれよん	読み聞かせボランティア	平19. 6	17	宮崎市	子ども発達支援の家つなぐ	障害児通所施設	平30. 5
6	宮崎市	サンシャインフレンズ	読み聞かせボランティア	平 4.11	18	宮崎市	“ひむか”なライブラリアンシップ	研究団体 研修団体	平30. 5
7	宮崎市	シルバーケア短歌会「空の会」	研究団体【短歌】	平26. 1	19	宮崎市	牧水研究会	研究団体【短歌】	平30. 7
8	宮崎市	学校支援ボランティア「お話の部屋」	読み聞かせボランティア	平13.10	20	宮崎市	しんがくどう宮崎	障害児通所施設	平31. 4
9	宮崎市	(公財)野村生涯教育センター 宮崎支部	研修団体	平10. 8	21	宮崎市	日向神話の伝承・民話の語り“ひむがたり”	読み聞かせボランティア 研修団体	令元. 6
10	宮崎市	びろうじゅ	研究団体【短歌】	平元.11	22	宮崎市	ラボ・ミヤザキ	私設文庫・読み聞かせボランティア・研究団体【絵本】 研修団体	平26. 4
11	宮崎市	MAR I	読み聞かせボランティア	平26.10	23	宮崎市	宮崎県現代川柳協会	研究団体【川柳】 研修団体	平28. 4
12	宮崎市	みなみかぜ	読み聞かせボランティア	平12. 4					

(4) 図書館ネットワーク事業

マイラインシステムによる県立図書館資料の市町村等への貸出実績の推移

単位 (冊)

	施設名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1	宮崎市立図書館					
2	宮崎市立佐土原図書館	64	57	55	88	47
3	都城市立図書館	111	134	77	215	202
4	都城市立高城図書館	10	18	21	21	13
5	延岡市立図書館	297	360	350	431	330
6	延岡市立図書館北方分館	58	52	45	27	16
7	延岡市立図書館北浦分館					2
8	延岡市立図書館北川分館		17	14	3	8
9	日南市立図書館	518	704	682	799	725
10	小林市立図書館	160	176	182	143	103
11	日向市立図書館	454	425	348	356	436
12	串間市立図書館	137	119	92	90	144
13	西都市立図書館	48	250	158	252	178
14	えびの市民図書館	70	61	43	70	52
15	三股町立図書館	204	231	236	171	170
16	国富町立図書館		6	25	44	48
17	綾てるは図書館	111	144	159	142	52
18	町立高鍋図書館	227	168	176	192	158
19	新富町図書館	194	101	86	101	52
20	川南町立図書館	110	113	114	104	113
21	都農町民図書館	164	325	229	257	303
22	門川町立図書館	51	88	87	73	52
23	美郷町立西郷図書館	298	233	248	323	259
24	美郷町立北郷図書館	102	154	153	264	249
25	美郷町立南郷図書館	120	82	109	99	49
26	高千穂町立図書館	181	259	200	224	176
27	宮崎市清武文化会館図書室	69				
28	宮崎市田野公民館図書室	5	16	46	33	45
29	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	70	43	89	82	24
30	都城市山之口地区公民館図書室					1
31	都城市山田総合センター図書室		16	94	33	80
32	都城市高崎たちばな学び館	13	14	21	5	13
33	高原町中央公民館図書室	179	160	84	144	185
34	西米良村立図書室	27	12	16	6	22
35	木城町総合交流センターリバリス図書室	212	181	339	224	252
36	諸塚村中央公民館図書室	12	44	11	12	15
37	椎葉村民図書室		18	21		
38	まちなか図書館「中央保育園」(日之影町)		1		44	2
39	五ヶ瀬町教育委員会図書室	18	83	118	51	73
市町村立図書館・図書室 合計		4,294	4,865	4,728	5,123	4,649
40	県立五ヶ瀬中等教育学校		35	306	183	97
41	県立日向高等学校			446	424	332
42	県立富島高等学校			296	570	704
43	県立宮崎南高等学校			157	310	167
44	県立佐土原高等学校			310	246	17
45	県立宮崎商業高等学校			71	98	131
46	県立日南振徳高等学校			37		20
47	県立都城農業高等学校				181	173
48	県立宮崎北高等学校				1	415
49	県立高鍋高等学校					434
50	県立宮崎東高等学校					1
県立学校 合計		0	35	1,623	2,013	2,491
51	宮崎大学本館				7	15
大学 合計		0	0	0	7	15
合計		4,294	4,900	6,351	7,143	7,155

※日南市立まなびピア図書館・日南市立北郷図書館・南郷図書館は、日南市立図書館(本館)にて一括計上。

※小林市立野尻分館・須木分館は、小林市立図書館(本館)にて一括計上。

(5) 訪問支援

平成 28 年度から、市町村図書館や県立学校等に対し、図書館等の運営に係る支援や助言を行う訪問支援を開始した。訪問支援は、全市町村図書館・室を対象とした定期訪問と市町村図書館・室や県立学校等からの要請に応じて行う要請訪問に区別している。令和元年度の定期訪問は、全市町村図書館・室を対象とし、45 回行った。また、要請訪問は 14 回行った。

〈令和元年度要請訪問状況〉

期 日	訪問施設名	要請内容
5 月 15 日	県立日南くろしお支援学校	読書活動支援
6 月 24 日	西都市立図書館	図書の修理
7 月 12 日	小林市立小林中学校	司書教諭、図書主任、学校司書との連携・協働について
7 月 12 日	高原町教育委員会	子どもの読書活動推進計画策定について
7 月 25 日	五ヶ瀬町教育委員会	子どもの読書活動推進計画策定について
7 月 29 日	川南町立唐瀬原中学校	学校図書館支援
7 月 30 日	宮崎市立池内小学校	子どもの読書活動～ビブリオバトル～
7 月 31 日	えびの市民図書館	子どもの読書活動～アニメーション～
8 月 22 日	都農町立都農中学校	学校図書館支援
9 月 11 日	県立日南くろしお支援学校	読書活動支援
11 月 5 日	西都市立図書館	著作権について
11 月 15 日	宮崎県教育研修センター	学校図書館支援
11 月 27 日	県立大宮高等学校	学校図書館支援
1 月 15 日	県立日南くろしお支援学校	読書活動支援

(6) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸出し及びこれらを利用した映写会・講座等を実施した。

① 視聴覚資料等貸出月別利用状況 単位（貸出本数：本、利用回数：回、利用者数：人）

月	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出台数	利用回数	利用者数
4 月	0	0	0	4	4	800
5 月	0	0	0	0	0	0
6 月	2	2	160	0	0	0
7 月	3	3	58	8	8	486
8 月	15	15	366	2	2	76
9 月	3	3	219	2	2	76
10 月	0	0	0	2	2	100
11 月	0	0	0	0	0	0
12 月	11	11	488	10	10	415
1 月	0	0	0	6	6	318
2 月	6	6	280	8	8	338
3 月	0	0	0	2	2	100
合 計	40	40	1,571	44	44	2,709

② 視聴覚行事

〈映写会〉

子どもたちの情操教育や県民の生涯学習に役立てるため、子ども向けと大人向けの映写会を実施した。

ア 図書館子ども映写会

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	4月28日(日)	「宮崎の民話」「14ひきのぴくにつく」	—
2	8月8日(木)	「折鶴」「ムーミン パペット・アニメーション」	28
3	10月27日(日)	「たろうのばけつ」「ハチ公物語」	12
合 計			40

※第1回はフリースペース開催のため、カウントせず。

イ 図書館シアター

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	4月28日(日)	「こどもの時間」	19
2	6月15日(土)	「イミテーションゲーム」	66
3	8月8日(木)	「人間の翼」	39
4	10月27日(日)	「天使のいる図書館」	48
5	12月4日(水)	「ケアニン」	31
6	3月3日(火)	「飯館村の母ちゃんたち」「ノックアウト」	—
合 計			203

※第6回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

〈緑陰コンサート〉

様々な演奏団体等を招き、解説などを交えた演奏会を実施した。

回	期 日	内 容	参加者(人)
1	4月28日(日)	蓄音機コンサート フルートとピアノの演奏 職員による読み聞かせ	—
2	8月31日(土)	レコードコンサート 「県立図書館コレクション 名曲の数々vol.13」	49
3	11月2日(土)	ホルンとピアノの演奏 「神話の源流を語る会」による神話の語り 職員によるパネルシアター	—
4	12月22日(日)	冬のレコードコンサート 「県立図書館コレクション 名曲の数々vol.14」	63
合 計			112

※第1回及び第3回はフリースペース開催のため、カウントせず。

(7) 関係機関と連動した情報発信事業

① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）

『未来を築く新しい「ゆたかさ」への挑戦』を推進するためには、主役となる県民に県の施策や県民の課題等を分かりやすく周知し、理解を促すことが重要である。本事業は、県及び国等の関係機関と社会教育機関である県立図書館が、互いに有する資産（人・物・施設）を連動させ、企画展やセミナー、相談会などを開催するもので、行政が一体となることでより円滑な事業の推進を図るとともに、個人や地域の課題解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的として実施した。

節	期 日	課・機関名	内 容	◎主催 ○共催
1	4月2日(火)～ 4月14日(日)	循環社会推進課	みやざき食べきり宣言プロジェクト	
		家畜防疫対策課	家畜伝染病「特別防疫月間」企画展	
2	4月16日(火)～ 5月6日(月)	県立図書館	こどもの読書週間企画展	◎
3	5月8日(水)～ 5月19日(日)	技術企画課	インフラストック効果パネル展	
		畜産振興課	「6月1日は世界牛乳の日」企画展	
4	5月21日(火)～ 6月2日(日)	中山間・地域政策課	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークと霧島ジオパークの魅力	
		生活・協働・男女参画課	消費生活問題啓発パネル展	
5	6月4日(火)～ 6月16日(日)	生活・協働・男女参画課	「県民との協働」パネル展	
		砂防課	平成31年度「土砂災害防止月間」パネル展	
6	6月18日(火)～ 6月30日(日)	生活・協働・男女参画課	男女共同参画パネル展	
		警察本部犯罪被害者支援室	犯罪被害者支援に関する企画展	
7	7月2日(火)～ 7月15日(月)	河川課	河川愛護ポスター展	
		港湾課	「みやざきの港」特別企画展	
8	7月17日(水)～ 7月28日(日)	統計調査課	統計グラフコンクール作品展	
		企業局総務課	来て見て知って 宮崎県企業局のおしごと	
9	7月30日(火)～ 8月12日(月)	森林経営課	森林・林業にふれてみませんか!	
		福祉保健課	みんなで知ろう!福祉のしごと	
10	8月14日(水)～ 8月25日(日)	農業連携推進課	農畜水産業の技術最前線	
11	8月27日(火)～ 9月8日(日)	環境管理課	土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展	
		義務教育課	県立五ヶ瀬中等教育学校展示発表	
12	9月10日(火)～ 9月23日(月)	福祉保健課	自殺予防週間 自殺予防啓発パネル展	
		医療・介護連携推進室	住み慣れた地域で私らしく生きるために	
13	9月25日(水)～ 10月6日(日)	環境森林課	「森林づくり推進期間」「エナコロジーマンス」共同展	
		中山間・地域政策課	中山間地域をみんなで支える県民運動	
14	10月8日(火)～ 10月20日(日)	美しい宮崎づくり推進室	美しい宮崎づくりパネル展	
		子ども家庭課	「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール作品展	
15	10月22日(火)～ 10月27日(日)	NHK宮崎放送局	NHK大河ドラマ「いだてん」全国巡回展	○
16	10月29日(火)～ 11月10日(日)	県立図書館	秋の読書週間企画展	◎

17	11月12日(火)～ 11月24日(日)	記紀編さん記念事業推進室	「記紀・万葉でたどる奈良」・「神話の源流 みやざき」 合同パネル展	
18	11月26日(火)～ 12月8日(日)	生活・協働・男女参画課	女性に対する暴力をなくす運動	
		長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり企画展	
19	12月10日(火)～ 12月22日(日)	税務課	「税を考える週間」特別企画	
		人権同和対策課	人権に関する作品展	
20	12月24日(火)～ 1月13日(月)	県立図書館	やまびこ文庫紹介パネル展	◎
21	1月15日(水)～ 1月26日(日)	障がい福祉課	思春期こころの健康	
		衛生管理課	動物愛護啓発パネル展	
22	1月28日(火)～ 2月9日(日)	農政企画課	NOSA I 「宮崎の農村」写真展	
		警察本部サイバー犯罪対策課	サイバー犯罪被害防止パネル展	
23	2月11日(火)～ 3月4日(水) ※臨時休館のため短縮	義務教育課	算数・数学の自由研究 作品コンクール 入賞作品展	
		危機管理課	「災害への備え100%」を目指しましょう!	
24	3月10日(火)～ 3月22日(日) ※臨時休館のため中止	税務課	平成31年度「税に関する絵はがきコンクール」作品展示	
		みやざき文化振興課	みやざきの「ひと」	
合計				40事業

② 県立図書館ロビー展（主催事業）

県立図書館の持つ資料や活動について情報発信することを目的に実施した。

節	期 日	内 容	
1	3月29日(金)～4月14日(日)	県立図書館の事業紹介	
2	6月4日(火)～6月16日(日)	みどりの特別企画展	
3	6月18日(火)～6月29日(土)	文化講座「オペラ『赤毛のアン』の実現に向けて」関連展示	
4	7月17日(水)～8月18日(日)	児童関連展示	
5	8月20日(火)～9月8日(日)	宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展	
6	9月10日(火)～10月6日(日)	公共図書館に関する企画展示	
7	10月7日(火)～10月26日(日)	「みどりの図書館フェスタ」関連展示	
8	10月28日(火)～11月4日(日)	「大切なあなたへ贈る私の一冊」関連展示	
9	11月6日(水)～11月24日(日)	「いいお産の日」関連展示	
10	11月26日(火)～12月8日(日)	国文祭・芸文祭関連展示	
11	12月10日(火)～12月22日(日)	地球温暖化防止月間展	
12	12月24日(火)～1月13日(月)	学校図書館の取組に関する展示	
13	1月15日(水)～1月26日(日)	無し	
14	1月28日(火)～2月9日(日)	省エネルギー月間展示	
15	2月11日(火)～2月16日(日)	特別整理期間に関する展示	
合計			14事業

③ 県内公共図書館における巡回展

	場 所	時 期	内 容	機 関
1	宮崎市立図書館	10月	災害への備え100%	危機管理課
		11月	森林・林業にふれてみませんか	森林経営課
2	宮崎市立佐土原図書館	10月	シニアパワー宮崎づくり企画展	長寿介護課
		3月	消費生活問題啓発パネル展	生活・協働・男女参画課
3	宮崎市きよたけ児童文化センター図書室	12月	災害への備え100%	危機管理課
		1月	みやざき食べきり宣言プロジェクト	循環社会推進課
		2月	NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課
		3月	統計グラフコンクール作品展	統計調査課
4	都城市立図書館	5月・6月	統計グラフコンクール作品展	統計調査課
		11月	美しい宮崎づくりパネル展	都市計画課
		2月	消費生活問題啓発パネル展	生活・協働・男女参画課
		9月	NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課
5	延岡市立図書館	8月・9月	災害への備え100%	危機管理課
		10月	みやざき食べきり宣言プロジェクト	循環社会推進課
6	日南市立図書館	11月	NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課
		6月	災害への備え100%	危機管理課
7	串間市立図書館	11月・12月	森林・林業にふれてみませんか	森林経営課
		2月	みやざき食べきり宣言プロジェクト	循環社会推進課
		5月	中山間地域をみんなで支える県民運動	中山間・地域政策課
		6月	消費生活問題啓発パネル展	生活・協働・男女参画課
8	西都市立図書館	7月	消費生活問題啓発パネル展	生活・協働・男女参画課
		11月・12月	みやざき食べきり宣言プロジェクト	循環社会推進課
9	えびの市民図書館	5月・6月	消費生活問題啓発パネル展	生活・協働・男女参画課
10	三股町立図書館	7月	河川愛護ポスター展	河川課
11	綾てるは図書館	6月	災害への備え100%	危機管理課
		8月	NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課
12	新富町図書館	2月・3月	NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課
		9月	土砂災害防止パネル展	砂防課
13	川南町立図書館	8月	統計グラフコンクール作品展	統計調査課
		9月	災害への備え100%	危機管理課
14	都農町民図書館	6月・7月	統計グラフコンクール作品展	統計調査課
		7月・8月	みやざき食べきり宣言プロジェクト	循環社会推進課
		9月	シニアパワー宮崎づくり企画展	長寿介護課
		11月・12月	犯罪被害者支援に関する企画点	警務課
		3月	NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課
				合計 14館(室)、 35事業

(8) 文化活動事業

① 第 61 回「こどもの読書週間」関連行事

毎年 4 月 23 日の「子ども読書の日」を中心とする「こどもの読書週間」は、良い本や良い雑誌に親しむことで子どもたちに読書の楽しみや喜びを伝え、また、大人には子どもの成長にとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供するための啓発期間である。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、読書活動等の体験等を通じて読書習慣を身につけさせることをねらいとして、次の関連行事を実施した。

期 間 平成 31 年 4 月 16 日(火)～令和元年 5 月 6 日(月)

内 容

ア 講座「絵本とわらべうたで楽しく子育て」

講 師：高野 和佳子氏 (NPO 法人子育て支援ワーカーズペペペらん代表) ほか

イ ワークショップ「牛乳パックを使ったくるくる絵本」

講 師：児童図書室担当職員

内 容：牛乳パックを使った簡単な工作

ウ 児童室小展示 1 「うたってたのしい」

内 容：わらべうたや童謡など歌の本の展示

児童室小展示 2 「幼年童話」

内 容：絵本から児童図書への橋渡しとなる幼年童話の本の展示

企画展示 1 「おいしい！絵本レストラン」

内 容：食べ物に関する絵本の紹介、展示

企画展示 2 「こどもしつしょうかいコーナー」

内 容：えほん年間貸出数ベスト 10、ボランティア紹介、大活字本等の展示など

エ おはなし会

ボランティア団体、児童図書室担当職員による絵本の読み聞かせ

オ 英語で楽しむおはなし会

宮崎県国際交流員による英語の絵本の読み聞かせ

② 第 73 回「秋の読書週間」関連事業 「みどりの図書館フェスタ」

読書の普及と出版文化の向上・発展のため、昭和 22 年に(社)読書推進運動協議会によって第 1 回「読書週間」が開催された。以後、毎年「文化の日」を中心に 10 月 27 日(文字・活字文化の日)から 11 月 9 日の期間が「秋の読書週間」となり、日本の国民的行事として定着している。

県立図書館においても、イベントを通じて読書の大切さを広く県民に普及・啓発し、県民文化の向上を図ることを目的に、関連事業として「みどりの図書館フェスタ」を開催している。

開催期日 令和元年 11 月 2 日(土)

プログラム

ア 緑陰コンサート～音楽と語りのコンサート

○ ホルンと電子ピアノの調べ

○ 表彰式～優良読書団体表彰

○ 神話の源流を語る会

イ 「大切なあなたへ贈る 私の一冊」大賞受賞者表彰式

ウ 歌人 大口玲子氏講演会「本と私」

エ データベース体験講座（法律編）

オ 図書館職員によるおはなし会

カ ブックピクニック（屋外）

県総合文化公園内で読書団体等と共同でレジャーシート及びテーマ別に本を数冊入れたバスケット等の貸出を行った。

キ みんなでエコ！リサイクル工作

ク 無料相談会（がんに関する相談会 まちの保健室）等

③ 特別展等

2階特別展示室において館蔵資料を中心とした貴重な資料を展示し、広く県民に公開した。令和元年度は、宮崎県内の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。また、普及活動として県内の生涯学習施設や関係機関と連携して巡回展や共催展を実施した。

<特別展>

「古代浪漫紀行」

期 間	令和元年7月20日(土)～8月25日(日)	開催日数：32日
内 容	古代律令国家創成期の資料を通して、当時の中央政府と宮崎との関係等を紹介した。また、県内の史跡や文化財も紹介した。	

「神々の面（おもて） ～面師本井繁意の世界～」

期 間	令和元年11月2日(土)～12月15日(日)	開催日数：38日
内 容	本井繁意氏制作の神楽面を展示し、本県の神楽の特徴や個性豊かな神々を紹介した。また、本県を代表する伝統芸能が多くの人々によって支えられていることを広く県民に知ってもらおう場を提供した。	

<企画展>

「小林邦雄コレクション展 ～若山牧水 短歌（うた）の変遷～」

期 間	令和元年9月28日(土)～10月20日(日)	開催日数：20日
内 容	牧水の歌集に焦点を当て、牧水の業績とそれぞれの歌集の評価やそれぞれの時代における牧水の短歌の特徴などを紹介した。また、それぞれの歌集に収録された短歌の遺墨も展示した。	

<巡回展>

会場・期間	宮崎大学附属図書館・・・5/7(火)～5/31(金)
	日向市立図書館・・・6/11(火)～6/30(日)
	宮崎日本大学中・高等学校図書館・・・7/5(金)～7/31(水)
	えびの市歴史民俗資料館・・・9/10(火)～9/29(日)
	日南市国際交流センター小村記念館・・・11/5(火)～11/24(日)

宮崎市立佐土原図書館・・・・・・・・・・ 2/ 5(水)～ 2/24(月)
 内 容 平成 30 年度に実施した企画展「没後 90 年 若山牧水」を再構成し、県 6
 会場で各施設との共催で実施した。(宮崎大学附属図書館は、平成 29 年度に
 実施した企画展「城」を再構成した内容で実施。)

〈共催展〉

「遺跡発掘成果展 2019」

期 間 令和元年 8 月 31 日(土)～9 月 23 日(月)

内 容 宮崎県埋蔵文化財センターがこれまでに発掘調査を実施し、近年報告書を
 刊行または整理作業を行った遺跡に関する展示を実施した。

9 月 1 日(日)には、「遺跡発掘速報会 ―発掘調査最前線 2019―」と題し
 た調査結果の速報会も開催した。

④ 郷土史料等学習活動

〈宮崎県文化講座〉

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りをもち、地
 域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習を支援することを目的に、当館の視聴覚室にお
 いて次のとおり実施した。

受講者計 137 名

回	期 日	演 題	講 師	受講者
1	6 月 29 日(土)	オペラ『赤毛のアン』の実現 に向けて	オペラ『赤毛のアン』 上演実行委員長 見山 靖代 氏	57 名
2	7 月 27 日(土)	宮崎の昔話 生目・大塚を中心に	地誌研究家 甲斐 嗣朗 氏	30 名
3	8 月 24 日(土)	散歩考古学 江戸の中の日向諸藩	イラストライター 松本 こーせい 氏	50 名

〈古文書講座〉

古文書に対して親しみを感じていただくと同時に、本県の歴史について理解を深めていただ
 くことを目的に、当館が所蔵する史料をテキストとして利用して、年 5 回古文書解読を実施し
 た。

受講者計 198 名

回	期 日	内 容	講 師	受講者
1	7 月 6 日(土)	講座① 「古文書に親しむ」	筆耕解読員 柘植 幹雄 氏	51 名
2	8 月 3 日(土)	講座② 「佐土原藩に関する 古文書を読もう」	筆耕解読員 柘植 幹雄 氏	54 名
3	9 月 7 日(土)			36 名
4	10 月 26 日(土)		筆耕解読員 中元 暢一 氏	29 名
5	11 月 10 日(土)			28 名

⑤ 神話の源流みやざき「語り部」養成・活用推進事業

これまで養成した神話・伝承等の「語り部」のさらなる資質向上を図り、国文祭・芸文祭で語りの場を設定することで、「神話の源流みやざき」の言語文化への関心を持たせ、県民の言語文化継承の意識を高める。また、語り部の活動やその意義を知ってもらい、県内各地での活動を促すことにより、宮崎県の神話や民話などの言語文化をベースにした新たな観光コンテンツの育成を図る。

〈語り部スキルアップ講座〉

これまでに養成した語り部に県内で活動している劇団員等を講師に招き、発声方法や臨場感のある語りの手法等の指導を4回に分けて実施し、語り部の知識と技能の向上を図った。

・県北会場（申込み者：24名）

実施日：6月9日(日)、7月7日(日)、8月4日(日)、9月8日(日)

会場：門川町立図書館

講師：池田 知聡 氏（サラみやざき）

・県南会場（申込み者：15名）

実施日：6月16日(日)、7月21日(日)、8月4日(日)、9月15日(日)

会場：三股町立図書館

講師：あべ ゆう 氏（劇団こふく劇場）

〈神話の源流を語る会〉

資質向上を図った語り部に活動の場を提供するとともに多くの県民に「神話の源流みやざき」の価値ある言語文化に関心を持たせる。

実施日	会場	内容
10月26日(土)	門川町立図書館	トヨタマヒメと鶴戸の亀石、そばの茎なぜ赤い、琴ひきの松
11月2日(土)	県立図書館	天孫降臨、海幸彦と山幸彦
11月6日(水)	三股町立図書館	石屋が一番、よだっころの話

⑥ 「本で世代をつなぐ」読書活動推進事業

〈「大切なあなたへ贈る 私の一冊」作文募集事業〉

読書離れの傾向が見られる中・高生を中心とした各世代を対象に、本の魅力に触れ生きる力や創造力を育む機会を提供し、世代をつなぐ読書活動を推進していくため、小学生・中学生・高校生・一般の方を対象に、「大切なあなたへ贈る 私の一冊」（150字作文）を募集した。総計2,876作品の応募の中から選考の上入選者20名を決定、20名のうち大賞受賞者8名については11月2日（土）に「みどりの図書館フェスタ」で表彰式を行った。後日、入選者20名の応募作品を記載した小冊子を1,000部発行し県内のすべての小中学校・高等学校等に配付した。

〈作品募集期間〉

令和元年6月1日(土)から7月15日(月)（当日消印有効）まで

(応募状況)

	小学生の部	中学生の部	高校生の部	一般の部	計
応募者数	888 名	1,352 名	391 名	245 名	2,876 名

<モデル的読書活動推進事業「ウィキペディアタウン in 宮崎」>

県立図書館がモデル的に実施することで県内普及を図るため、県総合博物館の協力を得て実施した。

※ウィキペディアタウン：地域を巡り、文化財等の情報について、地域資料等複数の文献を比べ読み、信頼性を精査、理解した上で自分の言葉でウィキペディア（ルールに従って皆で記事をつくり知識を共有する Web 上の百科事典）の記事を作成・編集するイベント。

実施日 令和2年1月26日（日）

会 場 県立図書館及び神宮周辺

参加者 21 名

講 師 是住 久美子 氏（愛知県田原市中央図書館長）

新規作成記事 「宮崎神宮徴古館」・「船塚古墳」・「宮崎県総合博物館民家園」

既存記事の再編集記事 「宮崎県総合博物館」

(9) 郷土資料調査研究事業

郷土に関する資料の調査研究を進め、史料集等の印刷物を刊行するとともに、館蔵の貴重資料をデジタル化し、デジタルアーカイブの充実を図る。

① 『宮崎県史料』

昭和49年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを目的として行っている。

令和元年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記（二十一）』を刊行した。（100部印刷）

② 『宮崎県文化講座研究紀要』

本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

令和元年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第46輯』を刊行した。（100部印刷）

③ デジタルアーカイブ事業

1,034点の貴重資料をデジタルアーカイブとしてホームページ上で公開している。平成26年度のシステム更新により、登録可能データ数が増えたことから追加登録の作業を進めている。

令和元年度は「佐土原藩嶋津家文庫」と「佐土原藩嶋津家江戸日記」の電子化事業を実施している。

(10) ホームページ等活用事業

県内全域をサービスエリアとする県立図書館として、県内均質のサービス向上を図るとともに、高度情報化社会に対応した図書館づくりを進めるため、ホームページにて図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

- ・総合利用案内、行事の案内と紹介、郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・県立図書館蔵書検索、県内公共図書館等の横断検索（当館を含む 22 館が参加）
- ・パスファインダー（調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介）
- ・電子メールによるレファレンス
- ・インターネットを經由した資料貸出予約申し込み

また、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用した情報発信にも取り組むため、平成 28 年度からフェイスブックページを開設し、随時更新している。

〈パソコン用トップページアクセス件数の推移〉

単位（件）

年 度	H25	H26※	H27	H28	H29	H30	R 1
件 数	135,346	119,867	148,444	157,479	637,440	1,087,461	320,790

※平成 26 年度のアクセス件数は、システム入れ替えのため、平成 27 年 2 月中旬から平成 27 年 3 月中旬の間は件数に反映されていない。

〈フェイスブックページアクセス件数〉 単位（件）

年 度	H28	H29	H30	R 1
件 数	63,429	56,632	52,138	20,258

(11) 体験学習・施設見学

図書館の業務や役割を理解し、図書館の活用を推進することを目的に、施設見学等を積極的に受け入れている。施設見学には、幼稚園・保育園・小中学校が社会見学として来館するのに加え、県総合文化公園一帯に所在する県の文化施設を巡る 4 館見学ツアー（県立美術館、県立芸術劇場、県総合博物館、県立図書館）も実施している。（平成 24 年度から「3 館見学ツアー」として事業開始。その後平成 28 年度から県立芸術劇場も加わり「4 館見学ツアー」となった。）

また、図書館業務を体験することにより、仕事の意義や大切さを知るとともに将来の進路選択に役立つよう、職場体験学習や司書実習、インターンシップなども積極的に受け入れている。

〈図書館体験学習〉（施設見学を含む。）

単位（団体・人）

種 別	団体数	延べ人数	備 考
幼稚園・保育所等	7	185	
小 学 校	17	779	
中 学 校	5	209	職場体験学習 4 校 11 名
高 等 学 校	1	3	
特別支援学校	0	0	
大 学	1	3	司書実習 1 校 3 名
そ の 他	5	31	知的・障がい者職場体験学習 1 名
合 計	36	1,210	

(12) 「かば先生文庫」

平成 24 年 10 月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から、長年にわたり小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立ててほしいとの趣旨で、10 年間で約 3,000 冊の児童図書への寄贈申出があった。そこで、亡くなられた院長の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室と B M 書庫内に「かば先生」コーナーを設けた。

〈利用開始までの経緯〉

- ・平成 24 年 12 月 11 日 御遺族からの「絵本贈呈式」の開催 1 階ロビー
- ・平成 25 年 2 月 14 日 児童図書室内「かば先生」コーナー用書棚の増設
- ・平成 25 年 4 月 29 日 子どもの読書週間内で「かば先生」コーナーの開設式の開催（利用開始） 1 階ロビー

〈かば先生文庫整備数〉（令和 2 年 3 月 31 日現在）

1,670 冊 内訳 児童図書室 646 冊
B M 書庫 1,024 冊

(13) 講演会等の主催・共催

当館単独による主催または県民の生涯学習に資する活動を行っている団体等との共催により各種の講演会等を実施した。

① 「新元号『令和』記念講演会」

主催：県立図書館

新元号を記念し、「令和」の典拠となった万葉集巻五・梅花の歌三十二首について深く学べる講演会を開催した。

（会場：研修ホール）

期 日	演 題	講 師	参加者
5 月 11 日 (土)	大伴旅人の人生と太宰府の梅 ～万葉集巻五・梅花の歌 三十二首を読み解きながら～	大館 真晴 氏（宮崎県立看護大学教授）	84 名

② 「神話のふるさと県民大学」

主催：宮崎県立看護大学、宮崎産業経営大学法学部

記紀、神話等をテーマとした、県内外の講師による対談、講演等。県内 2 大学が主催する「リレー講座」全 7 回のうち、宮崎県立看護大学主催分 2 回を当館で開催した。

（会場：研修ホール）

期 日	演 題	講 師	参加者
9 月 22 日 (日)	鼎談 「花の歌～古代から現代へ～」	大館 真晴 氏（宮崎県立看護大学教授） 小島 なお 氏（歌人） 伊藤 一彦 氏（歌人・当館名誉館長）	77 名
9 月 28 日 (土)	鼎談 「出雲神話の世界」	千家 和比古 氏（出雲大社 権宮司） 荻原 千鶴 氏（お茶の水女子大学名誉教授） 川島 恵 氏（MRT 宮崎放送アナウンサー）	115 名

※参加者数は宮崎県記紀編さん記念事業推進室調べ。

③ 「わくわく文芸講座」

主催：宮崎県教職員互助会

教職員等だけでなく、広く一般県民も対象とした文化芸術振興事業等の公益事業の一環として開催した。

(会場：研修ホール等)

期 日	区 分	内 容	講 師	参加者
7月13日 (土)	全体会 【講演】	演題 「故郷と文学の創造」	高山 文彦 氏	116名
	第1分科会 【小説】	○テーマ 「エッセイ上達の第1歩をふみだそう～実作を通して～」	曾原 紀子 氏	27名
	第2分科会 【俳句】	○テーマ 「語りつぐべき郷土俳人～俳句実作の要点～」	布施 伊夜子 氏	38名
	第3分科会 【短歌】	○テーマ 「心にひびく歌～最近歌集より～」	志垣 澄幸 氏	46名

※参加者数は宮崎県教職員互助会調べ。

④ 「みやざき自然塾コロキウム」

主催：NPO法人みやざき自然塾

自然理解及び自然環境保全の啓発活動の一環として、定期的な学術・文化講演会等を開催した。

(会場：視聴覚室)

	期 日	演 題	講 師	参加者
1	5月18日(土) (第39回)	高齢化社会の強い味方 ポリフェノール	寺原 典彦 氏 (南九州大学学長)	45名
2	9月23日(土) (第40回)	フォーラム 「宮崎・まちづくり・未来」 ～「日本のひなた宮崎」づくりを「ヒトと環境とまちづくり」の視点から語る～	大西 文秀 氏 (ヒト自然系 GIS ラボ所長) 北川 義男 氏 (南九州大学名誉教授)	36名
3	11月24日(日) (第41回)	私のパステル画生活と宮崎の自然	樹 朝子 氏 (みやざき自然塾会員 描画ボランティア)	30名
4	1月18日(土) (第42回)	今なぜ、木城えほんの郷なのか～地方(ちほう)文化と地方(じかた)の文化のはざままで～	黒木 郁朝 氏 (木城えほんの郷村長)	46名
5	3月21日(土) (第43回) 【中止】	私の Technical Dilemma ～ゲーテ、フンボルト、シェリングそしてシュタイナー遍歴を経ても今もなお～	足立 泰二 氏 (特定非営利活動法人みやざき自然塾塾長・理事長)	—

※第43回は臨時休館のため中止。

⑤ 「夏休み新聞教室」

主催：宮崎日日新聞

児童の学習の一環として、夏休み期間中に小学4～6年生とその保護者を対象にしたスク

ラップ新聞作り教室を開催した。

(会場：研修室)

期 日	内 容	講 師	参加者
8月9日(金)	スクラップ新聞作り	湯田 光 氏 (宮崎日日新聞社 読者室長)	30名

⑥ 「ラジオ文芸館のつどい in 県立図書館」

主催：NHK宮崎放送局

秋の読書週間にあわせ、県民が宮崎の文化にふれ、読書意欲を高めるために実施。郷土の関連資料を展示、ブックリストを配布した。

(会場：視聴覚室)

期 日	内 容	講師等	参加者
11月10日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK朗読番組「ラジオ文芸館」視聴(作品「櫛」曾原 紀子/作) ・作品「櫛」、宮崎の文学に関する対談 ・主な宮崎の文学作品の講話 	白鳥 哲也 氏 (NHK宮崎放送局 アナウンサー) 曾原 紀子 氏 (郷土作家) 鶴ヶ野 勉 氏 (郷土作家)	36名

(14) その他の取組

① 大学との連携

宮崎大学と「国立大学法人宮崎大学と宮崎県立図書館との連携協力に関する協定」を平成30年4月1日付けで締結している。

<実績>

ア 対がん情報コーナーにおける関連パンフレットの配布やパネル展示及び「がん相談支援に関する相談会」の実施(宮崎大学医学部がん相談支援センターとの連携)

イ 「宮崎大学ビジネスプランコンテスト」関連企画展示の実施

ウ 宮崎大学附属図書館における「城」に関する企画展示の実施

エ マイラインサービスの実施

② 「大人のためのおはなし会」

子どもだけでなく大人自身が絵本を楽しむ読書スタイルが広がりを見せていることから、子育て世代を中心として絵本に関心のある大人を対象に、児童図書室担当職員による絵本の読み聞かせを実施した。

<開催状況>

第1回 令和元年7月14日(日)

第2回 令和元年11月17日(日)

第3回 令和2年2月11日(火)

3 各種協議会等

(1) 県立図書館協議会

県立図書館協議会は、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 14 条及び県立図書館条例（昭和 25 年条例第 49 号）第 2 条の規定により設置しており、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。

① 委員（任期：平成 30 年 7 月 1 日～令和 2 年 6 月 30 日）

区分	所属・職名	氏名	区分	所属・職名	氏名
社会教育関係者	宮崎大学地域資源創生学部教授	根岸 裕孝	学識経験者	(株)宮崎日日新聞社生活文化部次長	川路 善彦
〃	日向市立図書館長	柏田 須美	〃	宮崎県中小企業家同友会事務局長	結城 美佳
学校教育関係者	宮崎県立高鍋高等学校長	土肥 隆夫	家庭教育向上活動を行う者	宮崎県PTA連合会副会長	中嶋 由香
〃	宮崎市立大淀小学校教諭	廣瀬 宏子	〃	特定非営利活動法人みやざき子ども文化センター理事	長谷川 恵子
社会教育関係者	特定非営利活動法人みやざき自然塾(公募委員)	高見 晋一	〃	会社員(公募委員)	小久保 利博

※所属・職名は平成元年 7 月 1 日現在（一部委員につき任期途中の交代等あり）。

② 令和元年度の開催状況

開催年月日	協議事項
令和元年 8 月 7 日(水)	ア 宮崎県立図書館の現状について イ 図書館評価について
令和 2 年 3 月 3 日(火) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	ア 令和元年度宮崎県立図書館の主な動きについて イ 令和 2 年度宮崎県立図書館運営方針等について

(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図ることを目的として昭和33年に発足した。昭和48年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

令和元年度は、下記のと通りの事業を実施した。

① 役員名簿（令和元年度）

役名	職名	氏名	備考
会長	宮崎県立図書館長	中原光晴	
副会長	日向市立図書館長	柏田須美	
〃	高原町中央公民館図書室長	西田次良	
監事	美郷町立図書館長	大坪隆昭	
〃	高千穂町立図書館長	濱田琢一	
顧問	宮崎県市長会長	戸敷正	宮崎市長
〃	宮崎県町村会長	黒木定藏	西米良村長

② 事業実績 〈会議〉

期日	会場	議題
令和元年 5月20日	県立図書館	I 総会 1 平成30年度事業実績及び収支決算報告 2 令和元年度事業計画案及び収支予算案 3 令和元年度役員選出 4 表彰式 5 事務連絡 (1) 県立図書館各担当 ・県立図書館利用の手引きの説明 ・遠隔地返却、寄贈図書、文化講座、大量貸出等 (2) 環境情報センター ・出前講座の紹介等 (3) 生涯学習課 ・専門研修について II 分科会（悪天候のため午後からの分科会は中止）
令和2年 3月2日	県立図書館	中心館会議（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

〈研修〉

期日	会場	議題
令和元年 8月26日	県立図書館	職員研修 新任職員研修会（講師等はいずれも県立図書館職員） 説明 「図書館ネットワークの活用法について」 講義 「資料の収集等について」 講義 「著作権について」 ワークショップ 「図書館サービスの現状・課題と展望について」

令和元年 6月17日 18日	県立図書館	職員研修 児童書の現物選書を含む研修会 ※宮崎県書店商業組合との連携・協力 講話 「選書と児童サービス」 講師 伊藤 明美 氏（日本女子大学非常勤講師）
令和元年 7月22日	県立図書館	職員研修 調べ学習・夏休みの自由研究の参考図書選書 ※図書館流通センターとの連携・協力 講習会 「児童用百科事典の使い方」 講師 県立図書館職員
令和元年 8月19日	県立図書館	専門研修 青少年サービス 講義 「『中高生へのアプローチをみなおす』ヤングアダルトサービス」 講師 川崎 彩子 氏（埼玉県飯能市立図書館）
令和元年 9月9日	県立図書館	職員研修 著作権研修会 講義 「図書館サービスと著作権」 講師 井上 奈智 氏（国立国会図書館）
令和元年 10月21日	県立図書館	専門研修 障がい者サービス 講義 「『こんな手立てもある』障がい者サービス」 講師 返田 玲子 氏（東京都調布市立中央図書館）
令和元年 12月9日 10日	県立図書館	職員研修 現物選書（総合展示会） ※宮崎県書店商業組合との連携・協力 公共図書館等職員及び学校図書館関係職員との合同ワークショップ 講師 県立図書館職員
令和2年 1月20日	県立図書館	職員研修 レファレンス研修会 講義 「レファレンスサービス、一歩前へ ～豊かな資料・情報の提供をめざして～」 講師 藤村 せつ子 氏（東京都国立市くにたち中央図書館）

〈県外研修派遣〉

5名

〈図書館アドバイザー派遣〉

10館 15名

③ 令和元年度総会表彰者名簿

〈読書普及優良団体・個人〉

読書団体名	代表者名
ねえ、よんで（西都市）	黒川 隆蔵

〈優良職員〉

所属	職名	氏名
該当者なし		

(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和 48 年 11 月 10 日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在まで郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

① 事業実績

<理事会・総会・研究発表会>

令和元年 6 月 11 日(火) 会場：県立図書館研修ホールほか

・総会

理事会で協議内容の確認を行った。総会では、提案事項について審議が行われ、すべての議案が承認されたほか、11 月の秋季研究発表大会串間大会について、串間史談会の担当者から概要説明があった。

・研究発表会

元宮崎県警察音楽隊楽長の井手茂貴氏に「日本最初の吹奏楽団『サツマバンド』」をテーマに講演していただいた。

<秋季研究発表大会>

串間大会（串間市）

令和元年 11 月 16 日(土) 参加者 128 人

内容 午前 ～ 視察（串間の為政者ゆかりの地、串間の著名な寺社と歴史、港と歴史の関
わりの 3 コースで実施）

午後 ～ 研究発表

発表題：「昭和 20 年の記憶 ～串間の戦争遺跡～」

発表者：深江 弘 氏（串間史談会）

<その他>

「地方史みやざき 第 64 号」の発行

② 役員及び加入団体

<役員> 任期：平成 30 年 6 月～令和 2 年 6 月

会 長 橋本 孝則（都城史談会）

副 会 長 柏田 公和（日向市史談会）、岩切 昭一（高鍋史友会）

吉田 美代治（串間史談会）

監 事 齋藤 勉（小林史談会）、湯浅 倉平（個人理事）

地区理事 後藤 博文（延岡史談会）、椎 敏夫（木城史友会）

亀澤 轟幸（えびの市史談会）、原口 勝（佐土原地区郷土史同好会）

神保 侃弘（日南郷土史会）、牧 貴（月刊宮崎とらや郷土文化研究所）

顧 問 杉尾 良也（宮崎県地方史研究会）、飛田 博温（高鍋史友会）

事 務 局 宮崎県立図書館内

〈加入団体〉

(令和2年3月31日現在)

名 称	代 表 者	所 在	名 称	代 表 者	所 在
延岡史談会	後藤 博文	延岡市	佐土原地区郷土史同好会	原口 勝	宮崎市
日向市史談会	柏田 公和	日向市 教育委員会	えびの市史談会	亀澤 轟幸	えびの市
木城史友会	椎 敏夫	木城町	小林史談会	齋藤 勉	小林市
高鍋史友会	岩切 昭一	高鍋町	都城史談会	橋本 孝則	都城市
宮崎考古学会	長津 宗重	宮崎市	南九州文化研究会	山下 博明	都城市
宮崎県地方史研究会 ※休会	杉尾 良也	宮崎市	日南郷土史会	神保 侃弘	日南市
宮崎県総合博物館	黒木 義博	宮崎市	串間史談会	吉田 美代治	串間市
宮崎県民俗学会	前田 博仁	宮崎市	北郷町史談会	本山 隆義	日南市
宮崎県埋蔵文化財 センター	山元 高光	宮崎市			
月刊宮崎とらや郷土 文化研究所	牧 貴	宮崎市			

○団体会員：17団体 個人会員：5名

(4) 令和2年度宮崎県立図書館資料推薦委員

番号	推薦分野	氏名	所属等	委員種類
1	哲学	柏葉 武秀	宮崎大学教育学部教授	個人委員
2	歴史学（古代史、中世史）	永井 哲雄	元県史編さん室長	〃
3	歴史学（近世史）	大賀 郁夫	宮崎公立大学教授	〃
4	歴史学（西洋史）	中堀 博司	宮崎大学教育学部准教授	〃
5	自然科学	木下 統	宮崎大学農学部准教授	〃
6	経済学	根岸 裕孝	宮崎大学地域資源創成学部教授	〃
7	社会科学（法律）	山田 秀一	宮崎県弁護士会	〃
8	語学（英語）	ウォーカー・ロイド	宮崎国際大学 国際教養学部学部長補佐 地域連携センター副センター長	〃
9	〃（韓国語）	李 善愛	宮崎公立大学教授	〃
10	〃（中国語）	田宮 昌子	宮崎公立大学教授	〃
11	〃（中国語）	園田 美伽	宮崎産業経営大学等非常勤講師	〃
12	〃（外国語一般）	川添 哲郎	宮崎県国際交流協会常務理事	〃
13	図書館学	佐藤 由紀枝	宮崎学園短期大学非常勤講師	〃
14	自然科学・歴史	黒木 義博	県総合博物館長	あて職委員
15	美術	四本 孝	県立美術館長	〃
16	行政	串間 俊也	企業振興課長	〃
17	教育	黒木 健一	教育研修センター所長	〃
18	産業（フードビジネス）	宇土 智子	宮崎県産業振興機構経営情報課長	〃
19	健康	和田 陽市	宮崎県福祉保健部次長（保健・医療担当）	〃
20	衛生・環境	藤崎 淳一郎	衛生環境研究所長	〃
21	工学	藤山 雅彦	工業技術センター所長	〃
22	土木・建築	境 光郎	技術企画課長	〃
23	農業	日高 義幸	総合農業試験場長	〃
24	水産	林田 秀一	水産試験場長	〃
25	畜産	三浦 博幸	畜産試験場長	〃
26	林業	濱砂 正則	林業技術センター所長	〃
27	体育	加塩 美昭	スポーツ指導センター所長	〃
28	福祉（障がい者）	重盛 俊郎	障がい福祉課長	〃
29	考古学	山元 高光	埋蔵文化財センター所長	〃

【 参考資料 】

1 沿革

(1) 県立図書館の歩み

年 月	図 書 館 の 歩 み
明治 35 年 5 月	私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立。蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 m ² (47 坪)。
大正 4 年 11 月	御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設。
昭和 24 年 5 月	工費 10,115,000 円で増改築。
昭和 26 年 8 月	宮崎県立図書館協議会発足。
昭和 29 年 1 月	自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始。
昭和 30 年 4 月	佐土原藩嶋津家日記の翻訳開始。
昭和 33 年 4 月	県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館 7 館で発足。
昭和 34 年 4 月	近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 m ² (576 坪)、蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失。
昭和 36 年 4 月	総工費 100,280,000 円 (付帯含む。) で新館完成。鉄筋コンクリート 3 階建、延面積 3,245 m ² (986 坪)。
7 月	開 館
9 月	「やまびこ」2 号車運行開始。
昭和 37 年 4 月	5 ヶ年計画で P T A 母親文庫を開設。
昭和 40 年 1 月	宮崎県郷土史料総合目録を刊行。
昭和 41 年 4 月	3 ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始。
昭和 42 年 5 月	複写サービス開始。
昭和 43 年 4 月	10 年計画で内藤家文書 (明治大学所蔵) のマイクロ撮影開始。
6 月	3 ヶ年計画で 3 級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始。
8 月	「やまびこ」3 号車運行開始。
昭和 44 年 1 月	宮崎県行政資料所在目録刊行。
昭和 45 年 4 月	5 ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始。
	内藤家文書 (マイクロ・フィルム) の翻訳開始。
7 月	閲覧室冷房工事完了。
昭和 46 年 3 月	蔵書目録第 1 巻 (総記、哲学、歴史編) 刊行。
昭和 47 年 3 月	蔵書目録第 2 巻 (社会科学編) 刊行。
7 月	開架室の増設 (1 万冊を 2 万冊へ)。
9 月	県内公共図書館連絡協議会へ 21 市町村の加入。
昭和 48 年 3 月	蔵書目録第 3 巻 (自然科学、工学、工業、産業) 刊行。
4 月	自動車文庫による配本を 3 ヶ年計画で拠点サービス方式に切り換えることにし当年度に 22 町村が完了。
	宮崎県史料刊行事業開始。
7 月	県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入。
	小中学生に対する館外貸出制度新設。
11 月	宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催。
昭和 49 年 1 月	購入雑誌を 146 種類 (従来 63 種類) に増加。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和49年3月	蔵書目録第4巻（芸術、語学、文学編）刊行。
4月	機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係。資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立した。 古文書解読研究会（館内職員）発足。 郷土文化講座（4講座）を開催。 県内の読書推進に寄与することを目的に10冊文庫を設置。 拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設。
11月	全国公共図書館整理部門研究集会（27日～29日 中小企業センターほか）を開催。
昭和50年3月	宮崎県地方史研究紀要第1輯刊行。 宮崎県史料の刊行開始。
4月	市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開設。延岡・都城・小林の3地区で開催。 へき地の小中学生を対象に「へき地仲よし子ども大会」を開催。
昭和51年1月	郷土文化講座（4講座）に自然科学講座を加える。
3月	宮崎県地方史研究紀要第2輯刊行。 蔵書目録第5巻（昭和48年度までの補遺）刊行。
昭和52年3月	宮崎県地方史研究紀要第3輯刊行。
4月	重要貴重図書購入5ヶ年計画を立案、実施。
8月	「やまびこ」4号車運行開始。
10月	蔵書目録第6巻（昭和49年度増加目録）刊行。
昭和53年1月	宮崎県地方史研究紀要第4輯刊行。
3月	蔵書目録第7巻（昭和50年度・51年度増加目録）刊行。
昭和54年3月	宮崎県地方史研究紀要第5輯刊行。
4月	N. D. C8版・N. C. R予備版に切换え。
6月	新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資料目録刊行開始。
8月	全館冷房工事完了。
10月	開架室の増設（2万冊を2万4千冊に）。
昭和55年3月	宮崎県地方史研究紀要第6輯刊行。
6月	児童読書傾向調査実施。
昭和56年1月	県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる。
3月	宮崎県地方史研究紀要第7輯刊行。
6月	県民読書傾向調査実施。
昭和57年3月	宮崎県地方史研究紀要第8輯刊行。
9月	県民読書環境整備促進事業実施（12月まで）。
12月	西日本子ども文庫寄贈（第5回目200冊）西日本新聞社。
昭和58年1月	日曜日開館試行（3月まで第2、第4日曜日）。
3月	宮崎県地方史研究紀要第9輯刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和 58 年 5 月	日曜日開館再試行（3 月まで第 3 日曜日を除くすべての日曜日）。
9 月	宮崎県総合文化公園基本構想検討会議に館長が委員として参画。
昭和 59 年 3 月	上記検討会議が宮崎県総合文化公園基本構想策定に関する意見を提出。 宮崎県地方史研究紀要第 10 輯刊行。
4 月	日曜日開館実施。
6 月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会設置（2 月まで委員会 11 回を開催）。
昭和 60 年 1 月	宮崎市杉田正臣氏より図書等 9,322 点寄贈（「杉田文庫」創設）。
3 月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会で新館建設計画書を作成、県教育委員会へ報告。 宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県総合文化公園基本計画公表。 宮崎県地方史研究紀要第 11 輯刊行。
4 月	新館建設準備委員会（3 月まで 5 回開催）及びコンピュータ導入委員会（3 月まで 13 回開催）設置。
7 月	新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体）。昭和 61 年 3 月 20 日設計完了。
9 月	宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして 500 万円寄贈（「岩切文庫」創設）。
10 月	全国公共図書館整理部門研究集会（17 日～18 日ホテルフェニックス）を開催。
昭和 61 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 12 輯刊行。 宮崎市杉田正臣氏より図書等 2,196 点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ）。 杉田文庫目録（図書の部）刊行。
10 月	新館建設工事契約県議会議決。 新館建設工事着工。
昭和 62 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 13 輯刊行。 杉田文庫目録（遺墨類）刊行。
12 月	新館完成、引渡。
昭和 63 年 1 月	旧館閉鎖。
2 月	新館へ移転開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 14 輯刊行。
4 月	機構改革 4 課 8 係。
5 月	新館落成・開館記念式典及び記念行事。 コンピュータ・システム稼働。 財団法人宝くじ協会より移動図書館車寄贈（「やまびこ」5 号車運行開始。）。 安井息軒銅像除幕式。 開館記念 「杉田文庫 稀観資料展」開催。 「杉田文庫 俳諧資料展」開催。
7 月	図書館ボランティア養成講座開設。
昭和 63 年 10 月	全国図書館大会次期開催誘致表明。
11 月	読書週間記念「杉田作郎展」開催。
平成 元年 2 月	全国図書館大会準備会発足。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 元年 2月	全国図書館大会分科会構成検討委員会開催。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー1」作成。
3月	宮崎県地方史研究紀要第15輯刊行。
4月	平成元年度全国図書館大会第1回実行委員会開催。
5月	新館開館1周年記念「よい絵本展」「緑陰映写会」「外国図書館展」「稀観資料特別展」開催。
7月	紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察。
10月	平成元年度全国図書館大会第2回実行委員会開催。 平成元年度全国図書館大会（25日～27日サンホテルフェニックス外）開催。
11月	日本図書館協会百年史県内編集会議。
平成 2年 1月	新館の入館者100万人を突破。
2月	児童図書館研究会宮崎学習会開催（延岡ロイヤルホテル）。
3月	平成元年度全国図書館大会第3回実行委員会開催。 宮崎県地方史研究紀要第16輯刊行。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー2」作成。
7月	第1回緑陰ビデオフォーラム開催。
11月	九州各県及び政令指定都市立図書館郷土資料部門研究集会（29日～30日みやざき会館）開催。
平成 3年 1月	「瑛九作品展」開催。
3月	図書館紹介ビデオ作成。 宮崎県地方史研究紀要第17輯刊行。 「嶠南日誌」1巻の発行（3巻で終刊）。
5月	九州各県及び政令指定都市立図書館長会議（28日～29日みやざき会館）開催。
平成 4年 3月	県立図書館コンピュータシステム一部開発（蔵書目録・主題検索）。 宮崎県地方史研究紀要第18輯刊行。
6月	「杉田文庫 資料展」開催。
9月	第1回宮崎県図書館ネットワーク検討委員会開催。
10月	宮崎県立図書館創立90周年記念「文化講演会」開催。
平成 5年 2月	九州地区公共図書館ゼミナール開催。
3月	宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定。 県立図書館コンピュータシステム一部開発（利用者開放端末・ネットワークシステム）。 宮崎県地方史研究紀要第19輯刊行。
4月	コンピュータ新システムへ移行（MILAI II）。
6月	「杉田文庫 常設展」開催。
7月	宮崎県立図書館コンピュータネットワークシステム（通称Myline）運用開始（当初5市町村加入）。
平成 5年 7月	宮崎県立図書館協力連絡車運行開始。
10月	「瑛九作品展」開催。
平成 6年 1月	「杉田文庫 常設展」開催。
3月	図書館利用案内ビデオ「本・出会い」作成。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 6 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 20 輯刊行。 「内藤充真院道中記」刊行。
6 月	「杉田作郎と 50 名の俳人たち」開催。
9 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総務・情報部門担当者会議開催。
10 月	「杉田文庫 はるかなる芭蕉展」開催。
平成 7 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 21 輯刊行。 「佐土原藩・唐船漂着記」刊行。 図書館利用案内ビデオ「本のかけ橋」制作。 県立図書館ネットワークシステムへ 20 市町村加入済。
10 月	宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊展」開催。 「芥川賞・直木賞受賞作品と作家肖像展」開催。真筆特別展「杉田文庫の世界」開催。
12 月	「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊の本」刊行。
平成 8 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 22 輯刊行。 「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行。
4 月	機構改革 4 課 7 係。 ビデオテープ「目で見るみやざき 100 冊の本」、カセットテープ「耳で聞く 100 冊の本」作成。
平成 9 年 1 月	「杉田文庫公開展」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 23 輯刊行。 「佐土原藩譜」刊行。 瑛九絵画作品等 86 点を県立美術館へ移管。
6 月	図書貸出限度冊数 3 冊を 5 冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前 9 時に変更。
10 月	特別展「サミット新聞報道展」を開催。 特別展「文学賞受賞作品展」、「牧水賞・牧水作品展」開催。
11 月	初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施。
平成 10 年 1 月	「城ヶ崎俳壇・作郎の周辺」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 24 輯刊行。 「佐土原藩譜（二）」刊行。 マイライン全市町村接続。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing」の稼働。 CD-ROM 設置。
6 月	「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う（平成 10 年～11 年）。
8 月	美術館、芸術劇場と初の共同企画事業特別展「華麗なるハプスブルク家ゆかりの図書展」開催。
10 月	図書館づくりフォーラム開催。 特別展「郷土の文学・受賞作家作品展」開催。
11 月	「図書館フェスタ」開催。
平成 11 年 1 月	「杉田作郎品展」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 11 年 3 月	宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして 30 万円寄贈（「平嶋文庫」創設）。 宮崎県地方史研究紀要第 25 輯刊行。 「佐土原藩譜（三）」刊行。
6 月	館蔵貴重資料展「20 世紀の初等教育を支えた教科書展」開催。
7 月	美術館との共同事業特別展「風の記憶 安野 光雄ポスターと図書展」開催。
平成 12 年 1 月	「杉田文庫近代文学展」開催。
4 月	インターネットによるホームページ開設。
6 月	サミット宮崎外相会合記念特別展「サミット図書展」開催。
9 月	宮崎県地方史研究紀要第 26 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（一）刊行。
10 月	全国公共図書館参考事務研究集会開催。
平成 13 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 27 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二）刊行。
4 月	「みどりの図書館づくり」事業発足
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 14 年 1 月	読み聞かせ研修会開催。
2 月	図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 28 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（三）刊行。
10 月	図書館創立 100 周年記念事業を開催。
11 月	100 周年記念式典。
平成 15 年 2 月	九州各県及び政令指定都市立図書館奉仕部門担当者会議開催。
3 月	「100 年のあゆみ」刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（四）刊行。 宮崎県地方史研究紀要第 29 輯刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX」の稼働。 県内図書館横断検索システム導入（4 館）。
7 月	国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画。 パソコン 2 台でのインターネット閲覧サービス開始。
平成 16 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 30 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（五）刊行。
4 月	組織改正、視聴覚係を読書推進係に変更。 持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7 席）。
6 月	「ビジネス情報コーナー」の開設。
10 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総合・経営部門担当者会議開催。
平成 17 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 31 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（六）刊行。
4 月	祝日開館試行開始。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 17 年 5 月	入館者 1,000 万人突破。
6 月	閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設。
10 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館利用講座開始。
12 月	6 代目移動図書館車「やまびこ」引継。
平成 18 年 1 月	ビジネス相談窓口の共同設置開始。
2 月	移動図書館車「やまびこ」養護学校訪問開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 32 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（七）刊行。
4 月	2 課 7 担当制に組織改正。
7 月	宮崎県環境情報センターオープン。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	図書館サービス計画ワークショップ開催。
平成 19 年 1 月	図書館フォーラム開催。
2 月	閲覧室内改装ロッカー室廃止、「環境情報センター」、「新聞・AVコーナー」移動。
3 月	ビジネス支援フォーラム開催。 身障者用駐車場屋根工事完成。 宮崎県地方史研究紀要第 33 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（八）刊行。
4 月	ホームページにみやざき本のページ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	「みやざき発 Live! Library～地域づくりと図書館のミッション」開催。
平成 20 年 2 月	図書館サイン見直し。 健康情報コーナー設置。 「学校図書館運営のてびき」発行。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 34 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（九）刊行。
4 月	2 課 6 担当制に組織改正。
11 月	中村地平生誕 100 年記念講演会開催。 「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 21 年 1 月	宮崎県町村会主催 県立図書館共催により「地域づくり・ひとづくりを考えるシンポジウム」開催。
2 月	「子育て支援コーナー」の開設。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 35 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十）刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX+」の稼働。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 22 年 3 月	「アメリカンシェルフ」オープン。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 22 年 3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 36 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十一）刊行。
4 月	県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結。
6 月	口蹄疫拡大防止のため、6 月 12 日から 7 月 26 日の間、休館。
8 月	第 34 回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察。
9 月	「親子の絆を深める子育て読書推進事業」移動図書館車「やまびこ」子育て支援センター訪問開始。
10 月	新書庫へ視聴覚演習室改修（収蔵能力 4 万冊増）。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
平成 23 年 3 月	児童室内に授乳スペースの設置。 貸出点数を 1 人 5 点から 10 点（児童図書室の資料は 5 点まで）に変更。 宮崎県文化講座研究紀要第 37 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十二）刊行。 県立図書館ブログ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 24 年 1 月	ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催。 古事記編さん 1300 年記念閲覧室内「古事記・日本書紀」コーナーを設置。
2 月	閲覧室 AV コーナー機器更新・液晶 DVD 対応機器導入。
3 月	話集・音声 CD「みやざきの言の葉」（神話・伝承、民話編）刊行。 宮崎県文化講座研究紀要第 38 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十三）刊行。
5 月	書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館（5 月 21 日から 6 月 8 日まで）。
7 月	子育て相談おはなし会開始。 福岡アメリカンセンターとの共催で伊藤頼子氏特別講演会及び英語の絵本読み聞かせ会開催。
9 月	空調用「冷温水器発生機」更新及び改修に伴い北玄関封鎖（9 月 26 日から 11 月 26 日まで）。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈（10 年間 3, 000 冊）。「かば先生文庫」を創設、贈呈式。 図書館政策フォーラム「図書館はどう使えるか～明日の生きる力と図書館～」開催。
平成 25 年 2 月	児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備。 閲覧室内の新聞コーナー、データベース・パソコンコーナーの模様替え。オンラインデータベース用パソコン 2 台増設。マルチメディアダイジー体験コーナー設置。 宮崎県環境情報センターを 1 階閲覧室から 1 階ロビーに移転。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 39 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十四）刊行。
4 月	歌人 伊藤一彦氏が名誉館長に就任。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 25 年 4 月	子どもの読書週間期間中に「かば先生コーナー」の開設式を開催。 置県 130 年記念特別展「宮崎県誕生」を開催。
5 月	伊藤名誉館長就任記念講演会を開催。
6 月～11 月	「次世代につなぐ『みやざきの言の葉』継承事業」(語り部養成講座、巡回パネル展〈以上日南市・西都市〉、子どものための講座〈西都市〉、講演会〈西都市〉)を実施。
9 月	本県出身のノンフィクション作家高山文彦氏を招き、県文化講演会「文学と故郷」を開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 26 年 3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 40 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十五)刊行。
4 月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス提供開始。
5 月	在福岡アメリカ領事館首席領事による英語読み聞かせ会開催。
9 月	知事とのふれあいフォーラム開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 27 年 1 月	在福岡アメリカ領事館(福岡アメリカンセンター)及び宮崎国際大学との共催による「アメリカンシェルフプロジェクト講演会『マンガを使って英語を教える・学ぶー漫画家が伝授する英語の上達法ー』」開催。
2 月	新県立図書館システム(iLisfiera V3)稼働。
3 月	障がい者サービス開始。 宮崎県文化講座研究紀要第 41 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十六)刊行。
4 月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。 日曜・祝日の閉館時刻を午後 5 時から午後 7 時に延長。 「日本一の読書県づくり」プロジェクト発足。 県政の重点施策情報発信事業の巡回展示開始。
7 月	「九州地区図書館の集い」を共催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 28 年 2 月	閲覧室の持込用パソコンコーナーを 6 席増設(全 20 席)。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 42 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十七)刊行。 移動図書館車「やまびこ」廃止(平成 28 年 6 月 7 日より「やまびこ文庫」に移行)。
4 月	新マイラインサービス開始。 県立図書館公式フェイスブックページを開設。
5 月	県立図書館ビジョン懇談会発足。 伊藤一彦名誉館長おすすめの本のコーナー展示開始。
6 月	移動図書館車「やまびこ」から「やまびこ文庫」への引継式。「やまびこ文庫」開始。
8 月	宮崎県立宮崎海洋高等学校の実習船による長期乗船実習への「やまびこ文庫」の貸与開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 伊藤一彦名誉館長とともに若山牧水のふるさとを訪ねる「牧水が見た風景」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成28年11月	県立図書館ビジョン懇談会の提言「これからの宮崎県立図書館について」とりまとめ。
12月	未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業「語り部のつどい」開催。
平成29年1月	在福岡アメリカ領事館領事による英語読み聞かせ会開催。
3月	宮崎県文化講座研究紀要第43輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十八）刊行。
4月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。 ストリートブックフェア in みやざき国際ストリート音楽祭2017にて出展。
5月	プレミアムフライデーと連動し働く世代と家族向けミニイベント実施（～12月毎月1回）。
6月	若山牧水の高弟竹中皆二氏の御遺族から牧水が創刊した短歌雑誌「創作」を寄贈（全878冊）。 「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」で県内高校生におすすめの本を募集（～10月）。
8月	大人のためのおはなし会開始。 「理科読」事業開始。
10月	名誉館長文化講演会「若山牧水と『創作』」開催。 「みどりの図書館フェスタ」台風接近による天候不良のため開催中止。 対がん情報コーナー設置。
12月	「宮崎県立図書館ビジョン」策定。 トークセッション「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」開催。 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業「語り部のつどい」開催。 「かば先生文庫」寄贈5周年記念おはなし会開催。
平成30年2月	若山牧水没後90年企画「若者たちよ！いざ牧水を語ろう～対談・討論・読書活動の集い～」を宮崎大学と連携して開催。
3月	宮崎県立図書館ビジョン「第1期アクションプラン」策定。 宮崎県文化講座研究紀要第44輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十九）刊行。
4月	宮崎大学との連携協力に関する協定締結。
5月	「本で世代をつなぐ読書活動推進事業 中・高生に伝えたい『おすすめの一冊』」作品募集（～7月）。
7月	「がん相談支援に関する講演会・相談会」を宮崎大学と連携し初めて開催。
10月	「新館30周年記念 みどりの図書館フェスタ」開催。 県立図書館書庫増設検討委員会設置。
11月	故小林邦雄氏の御遺族より若山牧水遺墨等寄贈。
平成31年3月	屋上防水改修工事（工区1）完了（工期10/23～3/25）。 宮崎県文化講座研究紀要第45輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二十）刊行。
4月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。
令和元年5月	「新元号『令和』記念講演会」開催。
6月	「本で世代をつなぐ読書活動推進事業 大切なあなたへ贈る『私の一冊』」作品募集（～7月）。
7月	国立国会図書館歴史的音源サービス提供開始。

年 月	図 書 館 の 歩 み
令和元年 10 月	(株) 内田洋行が 2 階ロビースペースの空間構築ユニット及び関連物品を寄贈。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
令和 2 年 1 月	屋上防水改修工事 (工区 2) 完了 (工期 10/2~1/29)。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 46 輯刊行。
	佐土原藩嶋津家江戸日記 (二十一) 刊行。
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 3/5~3/26 臨時休館。

(2) 歴代館長名

歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考	歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢田 重遠	学務課長 兼	28	昭和 48. 4	昭和 51. 3	藺田 穂	専任
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	県視学 兼	29	" 51.4	" 53. 3	日高 千文	"
3	" 38. 6	" 40. 2	小山 季郎	"	30	" 53. 4	" 57. 3	三宅 孝明	"
4	" 40. 2	" 42.12	石神 徳蔵	"	31	" 57. 4	" 59. 3	比江島重俊	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市川 覃	学務課長 兼	32	" 59. 4	平成 2. 3	大坪 學	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿夫	"	33	平成 2. 4	" 4. 3	新貝 晴男	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜部 正一	"	34	" 4. 4	" 5. 3	久徳 菊雄	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専任	35	" 5. 4	" 6. 3	村岡 啓吾	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新原 俊秀	"	36	" 6. 4	" 8. 3	佐野 芳弘	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天谷 虎之助	学務課長 兼	37	" 8. 4	" 9. 3	黒木 康博	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡本 保三	"	38	" 9. 4	" 11. 3	安田 天祥	"
12	" 12.12	" 14. 4	小山 三郎	"	39	" 11. 4	" 13. 3	四元 邦和	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多胡 全	社会教育 主事兼	40	" 13. 4	" 14. 3	島内 清成	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古城 林	学務課長 兼	41	" 14. 4	" 15. 3	早川 烈	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿賀 正美	"	42	" 15. 4	" 15. 8	岩崎 武	"
16	" 5.12	" 6.12	手島 伝	"	43	" 15. 8	" 19. 3	伊藤 惇一	"
17	" 6.12	" 7. 1	中島 知道	"	44	" 19. 4	" 21. 3	宮永 博美	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若山 甲蔵	専任	45	" 21. 4	" 22. 3	一原 則幸	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐山 修	専任嘱託	46	" 22. 4	" 23. 3	矢野 好孝	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山本 栄喜	社会教育 課長兼	47	" 23. 4	" 24. 3	高島 俊一	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大山 俊建	"	48	" 24. 4	" 25. 3	甲斐 睦教	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日高 重孝	専任	49	" 25. 4	" 26. 3	坂本 義広	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中村 地平	"	50	" 26. 4	" 27. 3	内栞保博秋	"
24	" 32.10	" 46. 3	日高 一	"	51	" 27. 4	" 29. 3	福田 裕幸	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂積 正晴	教育次長 兼	52	" 29. 4	" 31. 3	金子 洋士	"
26	" 46. 8	" 47. 3	竹内 敬郎	"	53	" 31. 4		中原 光晴	"
27	" 47. 4	" 48. 3	杉田 利治	専任					

2 県立図書館条例・規則

(1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)
(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

第2条 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則 (昭和31年4月13日条例第21号抄)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和39年4月1日条例第36号抄)

1 この条例は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則 (昭和41年7月30日条例第26号)

この条例は、昭和41年8月1日から施行する。

附 則 (昭和62年12月18日条例第29号)

この条例は、昭和63年2月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 教育委員会規則第3号)
(最終改正 令和2年3月 教育委員会規則第5号)

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第6条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

第2章 組織及び職制

第1節 組織

(課の設置)

第3条 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課

情報提供課

(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関すること。
- (2) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (3) 予算の執行及び決算に関すること。
- (4) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 施設及び設備の維持管理に関すること。
- (7) 図書館情報システムの運営管理に関すること。
- (8) 図書館資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (9) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (10) 県立図書館協議会に関すること。
- (11) 館の事務で情報提供課の主管に属さないこと。

(情報提供課)

第5条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関すること。
- (2) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関すること。
- (3) 視聴覚ライブラリーに関すること。
- (4) 郷土に関する資料の調査及び研究に関すること。
- (5) 図書館資料の利用に関すること。
- (6) 参考調査相談及び情報の提供に関すること。
- (7) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関すること。

第6条及び第7条 削除

第2節 職制

(職及び職務)

第8条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
館長	館	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副館長	副館	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課長	課	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主任社会教育主事	主任社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社会教育主事	社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専門主事	専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
専門技師	専門技師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
主任主事	主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主任技師	主任技師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主事	主事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技師	技師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
主幹	主幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専門主幹	専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
副主幹	副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
主査	主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、必要に応じ、会計年度任用職員を置く。

2 会計年度任用職員は、上司の命を受けて、事務又は技術に従事する。

第3章 図書館奉仕

第1節 通則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

(1) 閲覧室及び対面朗読室

午前9時から午後7時まで

(2) 児童図書室、特別展示室、視聴覚ライブラリー、研修ホール、研修室及び視聴覚室

午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）にあたるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年の1月4日まで（前号に掲げる日を除く。）

(3) 特別整理期間（あらかじめ、館長が定めて公示する期間）

2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。

(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。

(4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写（単色のもの）	複写1面につき	10円
電子複写（カラーのもの）	複写1面につき	50円
マイクロフィルム複写	1枚につき	50円

(図書館資料の複写の制限)

第17条 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- (1) 寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
- (2) 技術的に複写が困難な図書館資料
- (3) 複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が複写することを不相当と認めた図書館資料
(複写物の利用上の責任)

第18条 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。
(参考調査相談)

第19条 図書館資料に係る参考調査相談(以下「参考調査相談」という。)をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

- 2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。
(回答を行わない事項)

第20条 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不相当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

第3節 図書館資料等の館外利用

(図書館資料の館外利用)

第21条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券(以下「貸出利用券」という。)の交付を受けなければならない。

第22条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

- 2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者1人につき、未返却図書館資料の数を含め10点以内(うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め5点以内)とする。

- 3 図書館資料の館外利用の期間は、2週間以内とする。
(団体文庫及び巡回文庫)

第23条 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

- 2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。
(視聴覚機器の館外利用)

第24条 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体(以下「社会教育等団体」という。)とする。

- 2 第21条及び第22条第1項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

(図書館資料の館外利用の制限)

第25条 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

- (1) 貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料
- (2) 参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの
- (3) 寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不相当と認めた図書館資料
(図書館資料等の館外利用の停止等)

第26条 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器(以下「図書館資料等」という。)の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。
- (2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。
- (3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

(貸出利用券の紛失又は破損)

第27条 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

(図書館資料等の亡失又は損傷)

第28条 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

(図書館資料等の特別貸出し)

第29条 第21条、第22条、第24条及び第25条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

- (1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者
- (2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者

2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

第4節 研修ホール等の利用

(研修ホール等の利用)

第30条 研修ホール、研修室及び視聴覚室（以下「研修ホール等」という。）を利用することができる者は、社会教育等団体とする。

第31条 研修ホール等を利用しようとする者（以下「研修ホール等の利用者」という。）は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。

3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。

- (1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。
- (2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。
- (5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。
- (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。
- (7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(研修ホール等の利用の許可の取消し等)

第32条 館長は、研修ホール等の利用者が前条第3項各号の一に該当するに至ったときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じても、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第5節 図書館資料の寄贈及び寄託

(図書館資料の寄贈及び寄託)

第33条 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。

3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

(寄託資料の取扱い)

第34条 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

(寄託資料の賠償責任)

第35条 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第4章 雑則

(委任)

第36条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(県立図書館規則等の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

- (1) 県立図書館規則（昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号）
- (2) 県立図書館附設設備利用規則（昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号）

- 附 則** (平成2年4月17日教育委員会規則第8号)
この規則は、公布の日から施行する。
- 附 則** (平成4年8月25日教育委員会規則第8号)
この規則は、平成4年9月1日から施行する。
- 附 則** (平成7年3月31日教育委員会規則第10号)
この規則は、平成7年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成8年3月29日教育委員会規則第4号)
この規則は、平成8年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成9年5月22日教育委員会規則第5号)
この規則は、平成9年6月1日から施行する。
- 附 則** (平成13年3月30日教育委員会規則第9号)
この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成16年3月29日教育委員会規則第8号)
この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成18年3月30日教育委員会規則第12号)
この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成19年3月30日教育委員会規則第3号)
この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成20年3月31日教育委員会規則第6号)
この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成23年2月21日教育委員会規則第1号)
この規則は、平成23年3月1日から施行する。
- 附 則** (平成23年7月21日教育委員会規則第4号)
この規則は、平成23年8月1日から施行する。
- 附 則** (平成27年3月31日教育委員会規則第10号)
この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成30年3月29日教育委員会規則第11号)
この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 附 則** (令和2年3月30日教育委員会規則第5号)
この規則は、公布の日から施行する。

(3) 県立図書館協議会運営規則

(昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号)

- 第1条** 県立図書館協議会(以下「協議会」という。)に議長及び副議長各1人を置く。
- 2 議長及び副議長は、協議会委員(以下「委員」という。)の互選とし、その任期は委員の任期による。
- 3 議長は、委員の会議を主宰する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。
- 第2条** 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び議題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。
- 2 協議会招集の通知後に、緊急の議題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。
- 第3条** 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。
- 第4条** この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。
- 附 則**
この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

3 施設概況

(1) 構造

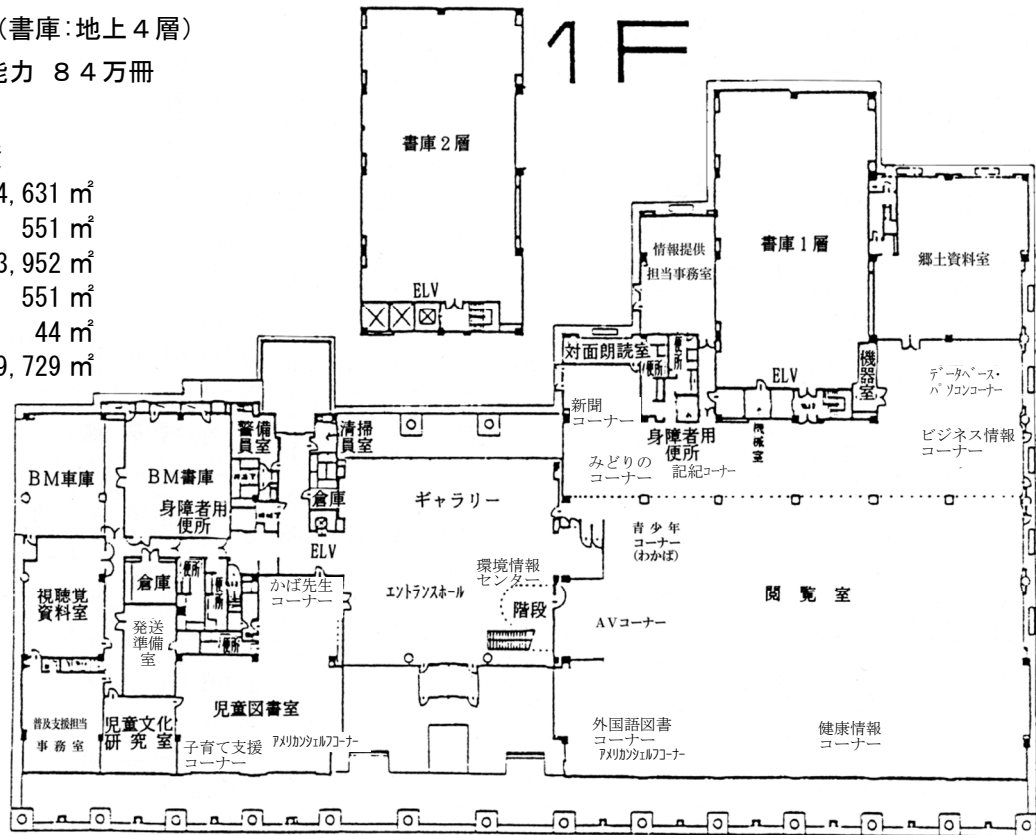
鉄筋鉄骨コンクリート造

地上2階（書庫：地上4層）

図書収蔵能力 84万冊

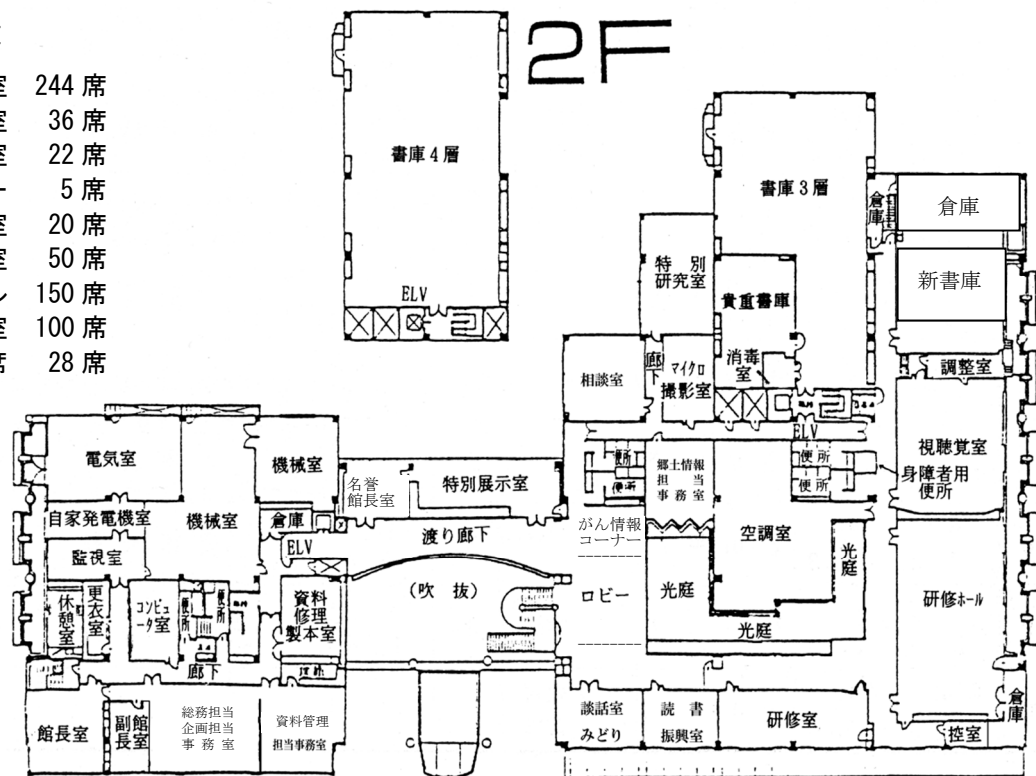
(2) 床面積

1階	4,631 m ²
	551 m ²
2階	3,952 m ²
	551 m ²
屋階	44 m ²
合計	9,729 m ²



(3) 座席数

一般閲覧室	244席
郷土資料室	36席
児童図書室	22席
AVコーナー	5席
読書振興室	20席
研修室	50席
研修ホール	150席
視聴覚室	100席
パソコン席	28席



4 利用案内

(1) 開館・休館

① 開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時

児童図書室 午前9時～午後5時

② 休館日

月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

年末年始（12月29日～1月4日）

特別整理期間（令和3年2月17日～令和3年2月28日）

(2) 貸出

冊数 一人10冊まで（ただし、児童図書室の本は5冊まで）

期間 14日以内

(3) 電話

0985-29-2911	全般的な問合せ	総務・企画課総務担当
0985-29-2911	各種図書館事業の企画・広報	総務・企画課企画担当
0985-29-2970	資料の寄贈	総務・企画課資料管理担当
0985-29-2956	やまびこ文庫、団体文庫、視聴覚事業	情報提供課普及支援担当
0985-29-2954	郷土情報に関する問合せ	情報提供課郷土情報担当
0985-29-2596	図書の貸出・返却	情報提供課情報提供担当
0985-29-2972	資料に関する問合せ	情報提供課情報提供担当

(4) ファクシミリ

0985-29-2491（総務担当・企画担当）

0985-29-2961（普及支援担当）

0985-22-9070（情報提供担当）

(5) 電子メール

ryokuin@miyazaki-pref-lib.jp（代表）

service@miyazaki-pref-lib.jp（サービス）

soudan@miyazaki-pref-lib.jp（レファレンス）

(6) ホームページ（当館の図書の検索、行事案内情報等の閲覧ができます）

<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

※フェイスブックページ <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>

5 市町村立図書館一覧

館名	館長名	所在地	創設年月
宮崎市立図書館	二宮 俊尚	〒880-0930 宮崎市花山手東3丁目25番地3 TEL 0985-52-7100 FAX 0985-52-7158	平 6. 5
宮崎市立佐土原図書館	外山 俊文	〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島20527番地4 TEL 0985-30-1037 FAX 0985-72-2066	平16. 4
都城市立図書館	井上 康志	〒885-0071 都城市中町16街区15号 TEL 0986-22-0239 FAX 0986-22-0251	昭23. 4
都城市立高城図書館(分館)	井上 康志	〒885-1202 都城市高城町穂満坊105番地 TEL 0986-58-4224 FAX 0986-58-4245	平21. 4
延岡市立図書館	森 政春	〒882-0812 延岡市本小路39番地1 TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644	大 7. 7
延岡市立図書館北方分館	稲村 斎 (兼)北方分室長	〒882-0125 延岡市北方町川水流卯1236番地2 TEL 0982-28-5200 FAX 0982-28-5201	平13. 4
延岡市立図書館北浦分館	吉田 宏喜 (兼)北浦分室長	〒889-0301 延岡市北浦町古江1943番地1 TEL 0982-45-2466 FAX 0982-45-2466	平24. 3
延岡市立図書館北川分館	井本 治久 (兼)北川分室長	〒889-0192 延岡市北川町川内名7250番地 TEL 0982-46-2047 FAX 0982-46-2065	平25. 4
日南市立図書館	宮口 美子 (兼)生涯学習課長	〒889-2535 日南市鉄肥2丁目6番18号 TEL 0987-25-0158 FAX 0987-25-1200	昭25. 1
日南市立まなびピア図書館	宮口 美子 同上	〒887-0013 日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内 TEL 0987-22-5666 FAX -----	平14. 3
日南市立北郷図書館	宮口 美子 同上	〒889-2402 日南市北郷町郷之原乙1570番地 TEL 0987-55-2469 FAX 0987-55-2469	平元. 8
日南市立南郷図書館	宮口 美子 同上	〒889-3204 日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内 TEL 0987-64-0924 FAX 0987-64-0930	平 7.12
小林市立図書館	山下 町子	〒886-0004 小林市細野367番地1 TEL 0984-22-7913 FAX 0984-22-4333	明41. 6
小林市立図書館野尻分館	山下 町子	〒886-0212 小林市野尻町東麓1183番地2 TEL 0984-44-1100 FAX -----	平22. 3
小林市立図書館須木分館	山下 町子	〒886-0111 小林市須木中原1741番地1 TEL 0984-48-2954 FAX -----	平22. 3

館名	館長名	所在地	創設年月
日向市立図書館	柏田 須美	〒883-0035 日向市春原町1丁目47番地 TEL 0982-54-1919 FAX 0982-54-5444	昭24.4
串間市立図書館	黒木 さやか	〒888-0001 串間市大字西方6524番地58 TEL 0987-72-1177 FAX 0987-72-0803	昭51.4
西都市立図書館	中村 廣文 (兼)社会教育課長	〒881-0003 西都市大字右松2606番地1 TEL 0983-43-0584 FAX 0983-41-1113	昭49.12
えびの市民図書館	北方 俊二	〒889-4311 えびの市大字大明司2146番地2 TEL 0984-35-0242 FAX 0984-35-3040	昭50.7
三股町立図書館	石崎 敬三 (兼)教育長	〒889-1901 北諸県郡三股町大字樺山3406番地8 TEL 0986-51-3200 FAX 0986-51-3751	平13.4
国富町立図書館	佐藤 利明 (兼)社会教育課長	〒880-1101 東諸県郡国富町大字本庄4768番地2 TEL 0985-75-9577 FAX 0985-75-9558	平17.4
綾てるは図書館	中村 清久	〒880-1302 東諸県郡綾町大字北俣462番地2 TEL 0985-77-0180 FAX 0985-77-0585	平16.7
町立高鍋図書館	山下 美穂 (兼)社会教育課長	〒884-0003 児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地 TEL 0983-21-1152 FAX 0983-21-1153	昭30.3
新富町図書館	齊藤 隆文 (兼)生涯学習課長	〒889-1403 児湯郡新富町大字上富田6345番地5 TEL 0983-32-7878 FAX 0983-33-5928	平28.4
川南町立図書館	下田 富美子	〒889-1302 児湯郡川南町大字平田2386番地3 TEL 0983-27-7111 FAX 0983-27-7100	平11.4
都農町民図書館	黒木 幸浩 (兼)社会教育課長	〒889-1201 児湯郡都農町大字川北5448番地2 TEL 0983-25-3316 FAX 0983-25-2683	昭50.12
門川町立図書館	寺原 浩二 (兼)社会教育課長	〒889-0611 東臼杵郡門川町大字門川尾末1611番地1 TEL 0982-68-0001 FAX 0982-68-0024	平14.3
美郷町立西郷図書館	大坪 隆昭 (兼)教育長	〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代645番地1 TEL 0982-66-2636 FAX 0982-66-2636	平11.4
美郷町立北郷図書館	大坪 隆昭 同上	〒889-0901 東臼杵郡美郷町北郷宇納間401番地 TEL 0982-62-6205 FAX 0982-62-6193	平15.5
美郷町立南郷図書館	大坪 隆昭 同上	〒883-0306 東臼杵郡美郷町南郷神門287番地 TEL 0982-59-1605 FAX 0982-59-1119	平24.4
高千穂町立図書館	濱田 琢一 (兼)教育長	〒882-1101 西臼杵郡高千穂町大字三田井723番地1 TEL 0982-72-7219 FAX 0982-72-5515	昭49.7

※令和2年4月1日現在。



宮崎県立図書館

どこでも・ささえる・つながる図書館

所在地

〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1 宮崎県総合文化公園内

電話

総務・企画課

総務担当 0985-29-2911

企画担当 0985-29-2911

資料管理担当 0985-29-2970

情報提供課

普及支援担当 0985-29-2956

郷土情報担当 0985-29-2954

情報提供担当 0985-29-2596

レファレンス用 0985-29-2972

ファクシミリ

総務・企画課

総務担当 0985-29-2491

企画担当 0985-29-2491

普及支援担当 0985-29-2961

情報提供課

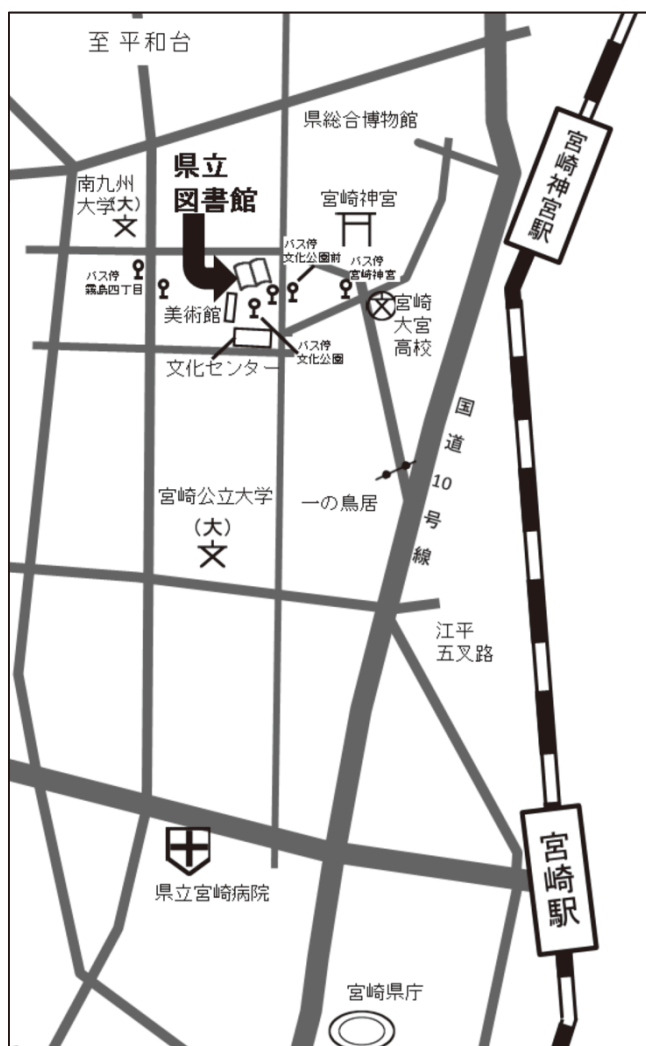
情報提供担当 0985-22-9070

電子メール

ryokuin@miyazaki-pref-lib.jp (代表)

ホームページアドレス

<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



令和2年度 宮崎県立図書館要覧

発行年月 令和2年7月

発行人 宮崎県立図書館